

## 本部事務局

### 【総括】

事務局は、本法人の中核として、法律（社会福祉法など）及び各種福祉サービス制度の改正に対応しながら、尼崎市をはじめとする各関係機関との連携を図り、中期運営計画並びに法人の運営方針に依拠して、社会福祉に対する市民からのニーズに応えるべく事業展開を図ってきた。

サービスの質の向上と合理的で効率的な法人の運営をめざして、諸規程の整備、経営意識の向上、経費の効果的執行を念頭に置いて事務事業を実施した。

また、平成28年度末までの指定管理協定期間である身体障害者福祉センター、たじかの園、あこや学園及び尼崎学園については、引き続き指定を受けるため、尼崎市と調整の上申請し、平成33年度末までの指定を受けた。

### 【事業計画で重点的に取り組んだ項目と達成状況】

取り組み項目	達成状況
収支を意識した予算執行、事業運営を行う。	施設長会議で各施設における運営に関する情報共有、意見交換を行い、また各施設の四半期ごとの予算執行状況を提示し、計画的な執行を心がけた。
人材育成のための環境整備を進める。	施設間職員交流を実施し、職員研修基本計画を策定した。
社会福祉法改正に向けて対応する。	研修及び説明会等に参加し、情報収集に努め、定款の変更を始め、評議員会の設置及び役員の定数変更を行った他、関係諸規程の整備に着手した。 また、各施設長に資料を配布、情報の共有に努めた。

### 【理事会の開催状況】

#### 1 理事会

開催日時	会場	審議事項
28.4.1(金) 13:00～	尼崎市議会棟 第4委員会室	理事の互選による理事長の選出及び副理事長・常務理事の選出について

<p>28. 5. 30(月) 13:30～</p>	<p>尼崎市議会棟 第3委員会室</p>	<p>報告第1号 平成28年4月1日付社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団役職者の人事異動について 報告第2号 平成27年度社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団事業報告について 認定第1号 平成27年度社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団収支決算について 報告事項 ・長安寮のあり方について</p>
<p>28. 8. 30(火) 14:00～</p>	<p>尼崎市教育・障害福祉センター 第3研修室</p>	<p>議案第1号 養護老人ホーム長安寮の定員変更について 議案第2号 平成28年度社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団補正予算について</p>
<p>28. 12. 27(火) 14:30～</p>	<p>尼崎市議会棟 第3委員会室</p>	<p>議案第1号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団定款の変更について 議案第2号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団評議員選任・解任委員会運営細則について 議案第3号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団評議員選任・解任委員会の委員の選出について 議案第4号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団評議員選任候補者の推薦について 報告事項 ・養護老人ホーム長安寮の定員変更等について</p>
<p>29. 3. 29(水) 13:30～</p>	<p>尼崎市議会棟 第3委員会室</p>	<p>議案第1号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団評議員会運営規程の制定について 議案第2号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団理事会運営規程の制定について 議案第3号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団職員給与規程の一部を改正する規程について 議案第4号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団職員の妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント及びセクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規則の全部改正について 議案第5号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団職員就業規則の一部を改正する規則について 議案第6号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団特別職員就業規程の一部を改正する規程について</p>

		議案第7号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団 経理規程の一部を改正する規程について 議案第8号 平成29年度社会福祉法人尼崎市社会 福祉事業団事業計画及び予算 議案第9号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団 役員の選任について 報告事項 ・評議員について ・中期運営計画について ・役職者の人事異動について
--	--	---

## 2 監事監査

開催日時	会場	審議事項
28. 5. 24 (火) 10:00~11:00	尼崎市立身体障害 者福祉センター 研修室	平成27年度事業及び収支決算について ○予算執行及び財産の状況 (資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対 照表、財産目録、付属明細書、振替伝票、総勘 定元帳、証ひょう他) ○業務執行状況

## 3 評議員選任・解任委員会

開催日時	会場	審議事項
29. 3. 9 (木) 13:50~	尼崎市立身体障害 者福祉センター 研修室	議案第1号 評議員選任・解任委員会 委員長の 選出について 議案第2号 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業 団評議員の選任について

## 4 役員等の退任・選任の状況

選任役員等 (五十音順)

### (1) 就任役員

28. 4. 1 理事 東 文造、中浦 法善、吹野 順次、山本 博久

28. 8. 1 理事 上村 富昭、真崎 一子、山口 昇次

29. 4. 1 理事 北江 有弘

監事 三宅 由佳

### (2) 退任役員

28. 6. 20 理事 寺本 博信

28. 7. 11 理事 辻・ 修、丸岡 鉄也

29. 3. 31 理事 東 文造、今村 博史、上村 富昭、中浦 法善

真崎 一子、山口 昇次

監事 名村 欣裕

(3) 就任評議員

29. 4. 1 東 文造、上村 富昭、木下 隆志、中浦 法善、西 政男、  
真崎 一子、山口 昇次

5 評議員選任・解任委員の退任・選任の状況（五十音順）

就任委員

29. 2. 21 大住 秀雄、喜田 完二、前田 和信

## 【監査状況及び結果】

1 尼崎市 平成 28 年度出資団体等監査（10/14～11/18）

監査委員からの問題事例についての指摘はなかったが、監査事務局から次のような指摘を受けた。

(1) 社会福祉医療機構から支給される額と期末要支給額の差額を退職給付引当金として計上すべきところ、それを上回る額を計上していた。（法人本部）

平成 28 年度決算において整理した。

(2) 市から譲渡された長安寮及び母子生活支援施設の建物減価償却の耐用年数に誤りがあった。（法人本部）

平成 28 年度決算において訂正した。

(3) 長安寮及び母子生活支援施設を法人本部から各施設への移管処理をする際、移管元はサービス活動費用で処理し、移管先は特別費用で処理していた。（法人本部）

今後同様のケースが生じた場合は、移管元、移管先とも特別収支の部で処理する。

(4) 内部取引は相殺することになっているが、貸借対照表に内部取引を含めた額が計上されていた。（法人本部）

平成 28 年度決算から内部取引を行った。

(5) 備品の計上漏れや現物確認ができないものがあった。

ア 机の計上漏れ（法人本部） 台帳に計上し備品シールを貼付した。

イ ビデオカメラ（母子生活支援施設）及び CD-RW（身体障害者福祉センター）

廃棄手続きを行った。

(6) 母子生活支援施設が受けた寄附金について、居住者の退所時に渡しているが、その間の会計処理が適正になされていなかった。（母子生活支援施設）

入所者への寄附金については、即利用者に寄与することとし、その際に受領印を受けることにした。

(7) 次の事例において契約書で定められた書類の提出を受けず、書類の交付を行っていなかった。

ア 機械警備委託業務において、機械警備会社へ緊急連絡先である職員名簿を交付していなかった。（障害者デイサービスセンター） 名簿を提出した。

イ 給食業務において、検便報告書を月 2 回求めているが、1 回分しか提出されていなかった。（障害者デイサービスセンター）

11月から月2回実施することにした。

ウ 自家用電気工作物保守管理において、電気設備管理技術者の名簿が提出されていなかった。(尼崎学園) 委託業者から名簿の提出を受けた。

エ 機械警備委託業務において、警備員名簿を徴収していなかった。(あこや学園) 委託業者から名簿の提出を受けた。

(8) 自主事業をしているにもかかわらず、市への届出がなされていなかった。また、それに係る費用についても、負担していない事例があった。

自主事業(実習生の受入れ)に係る届出を、障害福祉課及びこども家庭支援課に提出した。なお、利用者からのコピーサービス実費弁償分については、今後、障害福祉課と協議していく。

(9) 特定積立金について、会計規程に定めるとおりの積立資産が積み立てられていなかった。(法人本部)

平成28年度決算において整理した。

(10) 切手管理について、管理簿に載せていないものがあった。(たじかの園、あこや学園)

切手管理簿に計上し、都度受払の記載を行うよう改善した。

## 2 尼崎市健康福祉局法人指導課 母子生活支援施設サン野菊尼崎への指導監査

平成29年2月24日児童福祉施設に対する指導監査を受けた結果、概ね適正な事業運営が確保されていると認められた。

なお、助言事項の入所者預り金の出納手続きについては、入所者預り金管理規程と実態との整合性を図り、不審者を想定した避難訓練については、3月に実施した。

## 【職員状況】

### 1 採用

28.4.1 正規職員7名(尼崎学園2名、たじかの園3名、あこや学園2名)  
嘱託職員4名(母子生活支援施設1名、身障センター1名、あこや学園2名)

28.7.1 正規職員1名(たじかの園)  
嘱託員2名(たじかの園1名、デイサービスセンター1名)

28.12.1 嘱託員1名(身障センター)

### 2 退職

28.4.12 嘱託員1名(デイサービスセンター)

28.5.31 正規職員1名(尼崎学園)

28.7.31 嘱託員1名(身障センター)

28.12.31 正規職員1名(身障センター)

29.3.31 正規職員6名(尼崎学園1名、たじかの園3名、あこや学園2名)  
嘱託員4名(母子生活支援施設1名、たじかの園1名、あこや学園2名)

29.3.31 定年による退職者1名(あこや学園)

### 3 職員配置状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

福祉分野の担い手が雇用困難な状況がつづくなか、とりわけ長安寮では看護師の欠員状態が続き、派遣会社の看護師に頼らざるをえない状況にあった。さらに、各施設で育児休暇などの休職者や家庭の事情等による理由での退職者もあり、特に年度末に急な退職となった一部職種は欠員を埋めるに至らなかった。

各施設ともに、貴重な人材の流出は痛手を被るだけに、職員の面談や就労意思確認の調査票の提出などを早期に求めて動向を探り、補充が必要となった場合は随時採用試験を実施した。

所属	正規職員	嘱託員	アルバイト	計
本部事務局	4 (1)	0	1	5 (1)※1
母子生活支援施設サン野菊尼崎	3	3	4	10
身体障害者福祉センター	6	5	6 (1)	17 (1)※2
尼崎学園	16	2	23	41
たじかの園	21	6	5	32
長安寮	4	6	10	20
身体障害者デイサービスセンター	2	4	12 (1)	18 (1)※2
あこや学園	9	16	5	30
合計	65 (1)	42	66 (1)	173 (2)

※1 本部事務局(1)市派遣職員を含む。※2 身障センター、デイサービスセンターのアルバイト(1)は兼職 合計の(2)は再掲

### 4 採用試験実施状況

実施日	募集職種
28. 6. 6	相談支援専門員
6. 15	介護員
9. 12	児童指導員
10. 27	相談支援専門員
29. 1. 17	指導員
1. 20	保育士
1. 23	臨床心理士、相談支援専門員
1. 27	指導員、相談支援専門員
2. 14	相談支援専門員、作業療法士
2. 24	指導員、看護師

## 【会議及び研修会】

### 1 会議等の開催状況

開催回数	内容	場所
年 12 回	管理職会議	身体障害者福祉センター他

年 11 回	主任等会議	身体障害者福祉センター他
年 4 回	広報委員会	身体障害者福祉センター

## 2 職員研修会等開催状況

開催日	内容（テーマ）	場所
28. 4. 1	平成 28 年度新規採用職員研修（1 日目）	身体障害者福祉センター
7. 1	平成 28 年度新規採用職員研修（2 日目）	身体障害者福祉センター
8. 4	管理職員研修	身体障害者福祉センター
11. 2	「ゆるスポーツ」の体験	身体障害者福祉センター 尼崎市立あこや学園
12. 1	新規職員研修（12 月採用職員対象）	身体障害者福祉センター
12. 14	講義：リーダーシップとメンバーシップ ～施設長の体験談（思い）～	身体障害者福祉センター
29. 1. 11 12	「チームワークを良くするために」	尼崎学園（11 日） あこや学園（12 日）
2. 8	講義：事業団の 32 年間で振り返って ～それぞれの施設で取り組んだこと～	あこや学園
2. 15	ワーク・ライフ・バランス実現推進のための「パ ワーハラスメントとメンタルヘルス」	尼崎学園
3. 16	安全運転研修	身体障害者デイサービス センター
3. 23	認知症サポーター研修	長安寮
随時	施設間交流研修	事業団各施設

平成 28 年度は、前年度から継続して、主任等会議から提案された交流を目的とした障がい者スポーツの体験や、新たに提起された施設長からの講義などの内容で開催した。また、各施設内部での研修も、他施設職員に可能ならば参加を呼びかけるなど学びの機会を拡大した。あわせて法人内部の研修計画を起案作成し、次年度につなげていく取り組みを行った。

## 3 会議・研修等への参加状況（事務局職員）

開催日	内容	場所	参加者
28. 6. 20	全事協近畿ブロック第 1 回定例会 議	琵琶湖ホテル	常務理事・課長 補佐
8. 2	PCAソリューションカンファレ ンス 2016in 大阪	梅田スカイビル	課長補佐
8. 2	福祉人財の育成推進セミナー	兵庫県民会館	係長
8. 19	パワーハラスメント対策取組支援	神戸産業振興センター	係長

	セミナー		
8.31	「地域公益事業を考える」～社会福祉制度改革セミナー～	神戸教育会館	課長補佐
9.8	改正社会福祉法対応実践セミナー	姫路商工会議所	課長補佐
9.16	新社会福祉法最新情報セミナー	神戸国際会館	課長補佐
10.6	平成28年度会計実務担当者研修	兵庫県社会福祉研修所	課長補佐
10.20 ～21	第50回全国社会福祉事業団大会	メルパルク長野	理事長
10.24	改正育児休業法等説明会	尼崎市総合文化センター	係長
10.14 3.2	全事協近畿ブロックワーキングチーム会議	大阪府社会福祉会館	係長
11.7	平成28年度福祉人材確保・定着力向上研修	兵庫県私学会館	係長
11.22	全事協近畿ブロック第2回定例会議	高槻市役所総合センター	常務理事・課長補佐
11.30	社会福祉法人財務管理研修（社会福祉法人制度改革対応実務者研修）	兵庫県立のじぎく会館	課長補佐
12.9	社会福祉法人経営トップセミナー	ANAクラウンプラザホテル神戸	理事長
29.1.13	全事協近畿ブロック「専門性を向上させる研修」	市川町文化センター	係長
2.6	全事協近畿ブロック「意識改革を促進する研修」	和歌山JAビル	係長
2.13	全事協近畿ブロック「防災にかかわる研修」	大阪府社会福祉会館	係長
3.3	障害者雇用給付金制度事務説明会	ポリテクセンター	係長

## 【その他】

### 1 人材確保

- (1) 職員採用試験を随時実施した。
- (2) 採用募集方法は、引き続き事業団ホームページを活用、求人広告媒体も活用して希望者を募った。

### 2 労務管理

- (1) セクシャルハラスメント・パワーハラスメント等の外部相談窓口の設置（継続）



- (2) 職員健康診断後の産業医の意見聴取（産業保健センターの活用）を要精密検査、要治療の職員へ告知し、職員自身が自己管理できるように配慮のうえ、健康管理に役立てた。

### 3 社会貢献、地域貢献

「地域いきいき健康づくり協力団体」、「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」への登録（継続）

### 4 事務処理の効率化、過誤発生防止体制づくり

- (1) 銀行振込システムによる期限管理と振込手数料の削減
- (2) 支払や請求事務の過誤発生防止と予算執行の進捗状況の可視化を図った。

# 母子生活支援施設サン野菊尼崎

## 【総括】

昨年度と同様に、母の安定した就労で、計画的に一定の額を貯蓄でき、経済的に自立のメドがついたために退所となった世帯が多い一年となった。その一方で、精神不安から体調を崩したり、アルコールやギャンブルに依存するなど落ち着かないケースもあった。それぞれの母の状況と子の様子に合わせて病院や他の関係機関と連携し、ていねいに面談を重ねることで精神面の安定につなげた。

## 【事業計画で重点的に取り組んだ項目と達成状況】

取り組み項目	達成状況
収支の均衡をはかる。	措置費収入のうち、新たに施設機能強化推進費加算（広域入所促進事業）の認定を受けて、市外からDVなどの理由により、居住地から避難する母子世帯の入所受け入れを円滑かつ迅速に行えるよう整備を行った。今年度は、新たに広域からの世帯を受け入れた。
サン野菊尼崎に来てよかったと思われる施設運営と入所者支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施事業について事前に母の意見・子どもの要望を取り入れる機会を増やした。</li> <li>・ 行き場をなくしていた母子が入所することで、生活を立て直しつつ、職業訓練校に通うなど、就労支援にも取り組むなかで、将来をイメージできる機会を創出した。</li> </ul>
サービスの質の向上をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 退所者から住宅・転職・子育て・家族関係調整などの相談を受け、必要であれば、地域の関連機関と連携して地域で孤立化しないように支援した。</li> <li>・ 新たに、尼崎市と子育て家庭ショートステイ事業契約を締結し、児童養育家庭を支援する体制を整えた。また、配偶者による暴力被害等に係る緊急一時保護のため、兵庫県女性家庭センターとも緊急一時保護事業契約を締結し、緊急時の避難世帯の受け入れ拡充を図った。</li> </ul>

## 【事業内容】

### 1 母への支援

#### (1) 生活支援の内容

- ① 離婚、親権、債務過重等の課題を抱える利用者に対して、必要に応じて手続

きの同行、相談等を行った。

- ② 生活能力や養育能力に課題のある利用者に対して、家事や育児のアドバイスをし、その必要に応じて行政相談窓口や医療機関を紹介し、複雑な場合は手続き等の説明や窓口に同行するなどの支援を行った。
- ③ 安心して仕事や就労活動を続けられるように補完保育を行うとともに、急な残業の場合の保育園等への送迎代行、通院時等には、子の一時預かり等の育児支援を行った。
- ④ 退所後の住居に関して、公営住宅への申し込み援助、良好な環境の民間アパートの情報提供を行った。

## (2) 就労支援

入所後間もないなかで勤務先を探している母や、転職を考えている母に求人情報の収集や提供を行うとともに、就労の継続が不安定な者に対しては、断続的に面談を行い、就労意欲を維持できるように支援した。加えて知的・精神的に課題のある方には障害者就労・生活支援センターにつなぎ、就労のサポートを行った。

## (3) 心理面の支援

日常的な声かけ等により精神面をサポートするとともに、精神疾患を抱える入所者に対しては、医療機関につなぐなど、心身の安定等の支援を行った。

## 2 子どもへの支援

### (1) 学習支援

学童保育へ通う児童が多いものの、帰宅後に学校での宿題を中心に職員による学習支援を行った。また、高校生には学習支援ボランティアによる個別指導を行い、学力の維持を図った。

### (2) 豊かな経験への支援

入進学お祝い会、季節ごとの行事のほか、母の日のプレゼント制作を行うなど、大人との良好な関係を築き、一年を通してこころ豊かに過ごす経験ができるよう支援した。

また、学校の長期休業時に、県協議会加盟施設の児童対象合同行事への参加や施設内外で児童だけを対象にした外出体験を行った。

### (3) 健全育成

母子関係に留意し、子どもそれぞれの個性を尊重しつつ社会性が身に付くよう生活指導などを行った。また、母の養育能力に起因する問題では、学校、保育所との連携、専門家に助言を求めるなど、児童の自立支援強化に努めた。

## 3 施設内外の行事参加の働きかけ

母と子どもが施設での生活を楽しみ、職員や他の入所者との親交を深め、日頃のストレスを発散させることと、母子がともに同じ時間を過ごし、いろいろな経験を積み重ねることで自信をつけることを目的に、季節行事（子どもの日のお祝い会、クリスマス会、ひなまつり会）や、日帰り旅行（京都鉄道博物館）を実施した。

#### 4 補完保育

補完保育室を設けて保育士を配置し、密接なかかわりを必要とする乳幼児の保育を行うとともに、母の体調不良時などには一時預かりを行い、生活の維持に寄与した。

#### 5 安全管理

- (1) 日常的に管轄警察署や教育機関等と連携を図るとともに、夜間時に機械警備の業務委託を締結している。
- (2) 防犯カメラを設置している。
- (3) 児童福祉施設最低基準に基づき、施設内での火災などを想定した避難訓練を毎月実施したほか、大規模災害発生や不審者侵入を想定した訓練を行った。
- (4) 生活習慣病・感染症・食中毒・風邪の予防等の健康・衛生面や、誤飲事故をはじめとする居室内で起こりうる事故の防止、自転車保険の加入などについて、入所者への注意喚起、掲示板での情報提供を行った。
- (5) 快適な養育環境を保持するため、入所者の居室部分は定期的に職員による居室点検を行い、点検シートをもとに、著しく不適正な環境にある居室には指導を行った。

### 【事業実績】

平成 28 年度は入所 4 世帯、退所が 5 世帯であった。昨年度より入退所ともに 2 世帯減となった。

#### 1 入所世帯の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

- ・ 28 年度末入所者数 8 世帯 20 人（うち児童数 12 人）
- ・ 市内・県内外別 尼崎市内… 5 県内市町… 3 県外… 0
- ・ 就労者の状況 常勤… 0 パート・アルバイト… 3 無職… 5
- ・ 母の年齢構成 10 代… 1 20 代… 3 30 代… 2 40 代… 2 50 代… 0
- ・ 子の年齢構成 乳幼児… 9 小学生… 3 中学生… 0 高校生… 0

#### 2 退所世帯の状況（年度内の総数：主な退所理由）

- ・ 一般住宅入居による… 5 再婚… 0 共同生活になじめない… 0 母子分離… 0
- ・ 子の他施設措置変更… 0

#### 3 補完保育室（年度内）

- ・ 利用日総数… 243 日
- ・ 利用児童延べ人数… 110 人（うち一時預かり… 51 人）
- ・ 入所児数（年度内退所含む）… 1 人

※ 詳細は実績報告資料編 1 「入所者等の状況」を参照のこと

### 【職員研修及び会議等】

主な研修及び会議の参加状況は下記のとおり。

- 兵庫県母子生活支援施設協議会定例研究会及び合同職員研修会… 4 回計 15 人
- 兵庫県母子生活支援施設協議会職員部会（母子支援員、少年指導員）… 8 回計 12 人
- 近畿母子生活支援施設職員研究大会（京都市）… 2 人

DV被害者支援関係機関担当者向け研修会（神戸市など）…6回計9人

日本子ども虐待防止学会学術集会（大阪市）…1人

※ 詳細は実績報告資料編2「会議・研修等への参加状況」を参照のこと

## 【その他】

### 1 施設の周知

- ・ 本施設の周知を目的に、兵庫県内の43福祉事務所、大阪府内の63福祉事務所に施設パンフレットと施設の案内を郵送した。特に近隣の6市には訪問して説明を行った。
- ・ 園田地区の民生児童委員（39名）に対して、施設見学と施設の役割の説明を行った。

### 2 非常災害訓練

- (1) 消防署との合同消防訓練 28年6月15日（参加18人）
- (2) 自衛消防訓練 28年4月20日、5月18日、7月20日、  
8月17日（夜間想定）、9月21日、  
10月19日、11月16日、12月21日  
29年1月18日、2月15日、3月15日  
（延べ参加 175人）
- (3) 不審者対応訓練 29年3月15日（参加 13人）
- (4) 防災伝達訓練（県母協加盟施設） 29年1月18日

## 【資料編】

### 1 入所者等の状況

#### (1) 在籍者状況

##### ① 月別在籍人員

年 月 区 分		28								29			合 計	
		・ 4	5	6	7	8	9	10	11	12	・ 1	2		3
初 日 在 籍	世帯 数	9	9	8	9	9	9	9	9	10	9	9	8	延べ世帯 107
	人 数	22	22	19	21	21	21	21	21	23	21	21	19	延べ 人 252
入 所	世帯 数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	延べ世帯 4
	人 数	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	2	4	延べ 人 10
退 所	世帯 数	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	延べ世帯 5
	人 数	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	4	3	延べ 人 12

##### ② 退所理由

理 由 別	世帯数
再婚	0
復縁	0
一般住宅入居	5
母子分離	0
共同生活になじめない	0
その他（他施設措置変更）	0
計	5

##### ③ 主たる入所理由（年度内実数）

理 由 別	世帯数
住宅事情	1
不就労・ギャンブル	0
所持金不足	0
借金	0
精神的疾患など	1
夫（内夫も含む）の暴力	2
夫から児童への虐待	0
計	4

④ 在籍期間

期 間 区 分	1年 未 満	1～ 2年 未 満	2～ 3年 未 満	3～ 4年 未 満	4～ 5年 未 満	5年 以 上	合計 (世 帯)	平均期間
29.3.31 現在 世帯数	4	2	1	1	0	0	8	1年2ヶ月
28年度 退所世帯数	0	1	1	2	0	1	5	3年2ヶ月

⑤ 母親の年齢

年 齢 区 分		10歳 代	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	合計 (人)	平均年齢 (歳)
28 年 度	入所	0	3	1	0	0	4	24.9
	退所	0	2	3	0	0	5	30.9
29.3.31 現在 在籍者数		1	3	2	2	0	8	29.8

⑥ 補完保育室月別在籍児状況

(単位 人)

年 月 区 分	28 ・ 4	5	6	7	8	9	10	11	12	29 ・ 1	2	3	合 計
開所日数	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	22	243日
初日在籍 児童数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	延べ人数 4
入所 児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	延べ人数 1
退所 児童数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	延べ人数 1
利用日 児童数	19	17	0	0	0	0	0	0	0	5	15	3	延べ人数 59
一時預り利 用児童数	2	2	0	3	1	1	0	3	8	7	9	15	延べ人数 51

⑦ 入所相談件数の状況

年 月 区 分	28 ・ 4	5	6	7	8	9	10	11	12	29 ・ 1	2	3	合 計
市内	0	1	1	0	1	2	1	0	2	1	1	0	10件
市外 (県内)	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	2	2	9件
市外 (県外)	0	2	1	1	2	1	0	1	0	0	1	1	10件

⑧ 行事等の実施状況

(単位 人)

実施日	内 容	参加人数
28. 4. 6	春休み子ども行事 (外食体験)	4
4. 6	関学・神女 高校生ボランティア来訪	3
4. 20	入学進級おめでとう会	12
4. 28~5. 5	母の日のプレゼント制作	2
4. 27	子どもの日のお祝い会	15
4. 29	春の子ども会	3
6. 12	兵庫県母子生活支援施設協議会合同潮干狩り	14
7. 6	七夕かざり	19
7. 24	なつまつり	40
8. 5	兵庫県母子生活支援施設協議会合同ピクニック	3
8. 19	夏休み児童行事 (伊丹スカイパーク、こども科学館)	1
11. 6	兵庫県母子生活支援施設協議会合同レクリエーション	19
12. 4	親子日帰り旅行 (京都鉄道博物館)	19
12. 21	クリスマス会	23
29. 2. 3	豆まき	7
3. 1	ひなまつり会	19
該当月	お誕生日会	延べ 195

2 会議・研修等への参加状況

(1) 兵庫県母子生活施設協議会関係

実施日	内 容	場 所	参加者
28. 4. 8	定例施設長会議	兵庫県福祉センター	施設長
5. 9	協議会総会	兵庫県福祉センター	施設長、指導員 1 人
5. 17	第 1 回定例研究会	甲南大学	施設長、指導員 2 人
5. 20	少年指導員職員部会	ファミエひかり	指導員 2 人
5. 25	母子支援員職員部会	兵庫県福祉センター	指導員 1 人
7. 8	協議会理事会、定例施設長会	兵庫県福祉センター	施設長
7. 10	第 1 回職員合同研修会	兵庫県福祉センター	施設長、指導員 4 人
9. 8	母子支援員職員部会	兵庫県福祉センター	指導員 1 人
9. 9	定例施設長会議	兵庫県福祉センター	施設長
9. 16	少年指導員職員部会	兵庫県福祉センター	指導員 2 人
11. 17	母子支援員職員部会	兵庫県福祉センター	指導員 1 人
12. 2	協議会合同行事反省会・施設長会	兵庫県福祉センター	施設長、指導員 1 人
12. 8	第 2 回定例研究会	いたみホール	施設長、指導員 2 人



12.12	少年指導員職員部会	そねホーム	指導員 2 人
29.1.19	定例施設長会議	兵庫県福祉センター	施設長
2.5	第 2 回職員合同研修会	兵庫県福祉センター	施設長、指導員 3 人
2.2	母子支援員職員部会	兵庫県福祉センター	指導員 1 人
2.8	県母協施設長会議・理事会	兵庫県福祉センター	施設長
3.9	少年指導員職員部会	兵庫県福祉センター	指導員 2 人

(2) その他の研修などへの参加状況

実施日	内 容	場 所	参加者
28.4.26 5.19	平成 28 年度 DV 相談基礎研修	のじぎく会館	指導員 1 人
5.10	平成 28 年度児童福祉施設新任職員研修	兵庫県社会福祉研究所	指導員 1 人
5.25～26	防火管理者講習	尼崎市防災センター	施設長
6.22～23	平成 28 年度近畿母子生活支援施設研究大会	新都ホテル	施設長、指導員 1 人
7.23	男女共同参画ワークショップ	トレピエ	指導員 1 人
8.26	DV 相談担当者研修会	県中央労働センター	施設長、指導員 1 人
9.1	あまがさき相談支援連絡会スキルアップ研修会	中央公民館	指導員 1 人
9.14	身障センター研修成年後見人	身障センター	指導員 1 人
9.20～21	児童福祉施設長研修会	ホテル大阪ベイタワー	施設長
9.21	こころのケア研修	兵庫県こころのケアセンター	指導員 1 人
10.17	社会的養護研究会	中央労働センター	施設長
11.1	DV 家庭への対応力強化研修	姫路こども家庭センター	指導員 1 人
11.2	事業団職員研修 施設間交流	身体障害者福祉センター	指導員 2 人
11.25～ 26	日本子ども虐待防止学会第 22 回学術集会おおさか大会	大阪国際会議場	指導員 1 人
29.1.11	事業団職員研修 全体研修	尼崎学園	施設長、指導員 1 人
1.12	事業団職員研修 全体研修	あこや学園	指導員 3 人

1. 20	DV 応用研修	中央労働センター	施設長、指導員 1 人
1. 31	DV 家庭への対応力強化研修	川西こども家庭センター	指導員 1 人
2. 15	事業団基礎研修ハラスメント研修	尼崎学園	指導員 2 人
2. 22	DV 相談実務研修	中央労働センター	施設長、指導員 1 人
3. 16	事業団安全運転研修	身障者サービスセンター	指導員 2 人
3. 23	事業団認知症サポーター講座	長安寮	指導員 1 人

# 尼崎市立身体障害者福祉センター

## 【総括】

開館当初に比して利用者の高齢化と固定化、また時代の変化とともに障害福祉サービスメニューの多様化がすすみ、全国的にも利用者数の減少が顕著になっている。

身体障害者福祉センターが社会参加促進施設として、地域と当事者をつなぐ役割であることを再認識し、新しい利用者の確保と効率的な運用を平成28年度から開始した。具体的にリハビリ業務では、「指定自立訓練（機能訓練）」の利用枠を拡大し、理学療法士と作業療法士によるリハビリメニューだけでなく、体育部門との連携、集団による文化・教養的な内容を盛り込み、標準18か月の限られた利用期間内に充実した内容を提供できるように工夫、変更を行ってきた。

更に、平成28年度においては、事業団内の相談支援事業所が相談支援事業担当として、身障センターに併設される形で組織運営を行った。

## 【事業計画で重点的に取り組んだ項目と達成状況】

取り組み項目	達成状況
指定自立訓練（機能訓練）」の受入体制の充実と受入人数の増加	「指定自立訓練（機能訓練）」の受入枠の拡大に合わせ、センター事業である個別リハビリを、集団参加のプログラムに移行し、効率的な運用と利用者の嗜好を取り入れる工夫を行い、受入延べ人数の増加を図った。
指定特定相談支援事業所としての「サービス等利用計画」の作成の促進	サービス等利用計画作成の促進については、年度当初の目標には届かなかったが、委託相談支援事業所として、細かな調整を行い、その内容をサービス等利用計画に反映した。 また、各部門の職員と相談支援部門との連携では、サービス等利用計画作成のための調整会議等を通じて、職員一人ひとりが、利用者の在宅及び地域での生活の充実という目的のために、社会資源の一つとしての自らの役割を自覚できたことは意識面に变革をもたらすことにつながった。

## 【事業内容】

新規の利用者獲得策として、集団的なりハビリ訓練（グループ訓練）に、例えば「カラ

オケ」といった若年層にも興味を持てる内容を取り入れた。「文化教養・スポーツ講座」では、新しい種目の体験教室を実施し、前年度好評であった「ユニバーサルテニス」を定例開催することにつなげた。また、地域の障害福祉サービス事業所に体育指導員が出向く派遣事業を、事業所スタッフが当センターの体育室に出向いてもらう形に発展させ、知的障害者の運動療法等にも貢献できた。

12月の障害者週間にあわせて障害者と健常者、またセンターと地域の方々との交流促進事業である「身障センターのつどい」を尼崎市制100周年記念事業とタイアップして実施した。

「センター利用者アンケート」を昨年に引き続き実施し、利用者からの貴重な意見をできるだけ取り入れて事業に反映させた。

## 1 自主事業

### (1) 相談事業

栄養・医療・福祉相談

在宅の障害者とそのご家族、介助者等を対象に福祉制度や用具の利用・紹介、栄養相談を行った。

### (2) 機能訓練

#### ① 指定自立訓練

障害者総合支援法に示される一定期間（18 か月）の機能訓練が必要とされる身体障害者を対象に行なった。身体機能の改善、社会生活力の獲得等、個々の障害程度、年齢、生活状況などを踏まえて個別支援計画を作成し、理学療法士・作業療法士・保健師・相談員等の連携により支援を行った。

#### ② センターリハビリ

指定自立訓練事業の対象者以外の方、疾病や事故等の後遺症で身体に障害がある方などを対象に、理学療法士や作業療法士が日常生活における身体機能の維持を図る機能訓練を実施した。また、自宅でできるリハビリ指導を訪問して実施し、ご家族の介助負担軽減につながった。

### (3) 芸術・文化講座

趣味の拡大と教養の向上、社会参加と交流の場の提供を目的に、外部講師による音楽、生花、絵手紙などの講座を実施した。パソコン講座は、肢体障害者及び視覚障害者の障害種別ごとに園田学園女子大学情報教育センターにて、地域貢献の一環として場所提供と同大学の学生ボランティアの参加を受け、参加者に好評であった。

### (4) 生活訓練事業

センター利用者をはじめ、一般市民の方向けに市民公開講座（保健衛生講座）「健康寿命を延ばそう」と題して当センター嘱託医師により実施したほか、職員による手話教室も実施した。

### (5) スポーツ教室

楽しみながら体力の向上・維持を図り、さらに仲間づくりを目的に卓球、フライングディスク等の講座を行った。「スナッグゴルフ」「チェアビクス」などの体験教室を実施し、新しい種目に触れる機会を設けた。また、他団体の障害者スポーツ大会及び

公民館のふれあい学級事業への協力など、地域の障害者と健常者のスポーツ交流の一助を担った。

(6) レクリエーション開催事業

知的障害者を対象とした「エンジョイクラブ」では、「京都鉄道博物館」の見学活動のほかに「モザイクタイルで作ろう」「音楽活動」などの活動を行なった。

リフトバスツアーでは、「ニフレル・ららぽーと EXPOCITY」などへ外出し、好評を博した。

(7) 指定特定相談支援事業

利用者との契約により、対象者がよりよい暮らしを実現するために必要とするサービスは何かを個別に聞き取り、関係者と調整するなどして、サービス等利用計画及び継続支援利用計画（モニタリング）を実施した。

## 2 尼崎市委託事業

(1) 障害者相談支援事業（障害福祉課）

尼崎市の地域生活支援事業のひとつである障害者相談支援事業では、福祉サービス及び社会資源の活用や情報の提供、ピアカウンセリング事業など、障害者とそのご家族が地域で自立した生活を継続できるような支援を行った。

(2) リハビリ学級（保健所健康増進課）

市内在住者で、疾病等で心身機能が低下し、継続してリハビリが必要であると認められた方を対象に、心身機能の維持・回復を支援した。

（主なプログラム）

- ・転倒予防、失禁予防、体力増進等を目的とした体操
- ・医師による定期的な診察
- ・医師による「再発予防教室」などの講義及び参加者懇談会
- ・ヨガ講師、音楽療法士（外部講師）職員による教室、講座

## 3 その他の事業

(1) 協力・派遣事業

- ① 尼崎市介護認定審査会（理学療法士）
- ② 全国障害者スポーツ大会及び兵庫県障害者スポーツ大会（体育指導員）  
障害者スポーツ大会や競技会での審判及び役員として協力・派遣した。
- ③ 手話通訳事業（指導員）

(2) リフト付きバス運行事業

センター各事業の利用者の送迎運行、日常の送迎業務に支障のない範囲で、障害者団体へのバスの貸切運行を行った。

(3) 貸室事業

平日の夜間、日曜祝日を中心に障害者団体、サークル等へ会議やレクリエーション・スポーツ活動の場として貸室を行った。

(4) その他

- ① 広報紙「おおぞら」の発行

- ② 身障センターのつどいの開催（障害者週間の時期に年1回開催）
- ③ 実習生等の受入（看護学生、社会福祉系学生）

## 【事業実績】

### 1 自主事業

#### (1) 相談事業

内容	開催回数	延べ人数
栄養相談（外部講師）	2	4
権利擁護相談（外部講師）	0	0
機能訓練相談	37	90
医療・保健相談	220	544
生活相談	5	9
計	264	647

#### (2) 機能訓練

内容	開催回数	延べ人数
指定自立訓練（機能訓練）	196	484
センター訓練	245	400
グループ訓練	25	120
計	466	1004

#### (3) 芸術・文化講座

講座名	開催回数	延べ人数
生花	11	98
絵画	11	93
書道	21	148
肢体障害者パソコン	6	55
視覚障害者パソコン	5	21
音楽	22	515
組紐	11	75
園芸	4	28
絵手紙	11	72
ヨガ	12	193
囲碁	12	99
言語訓練	11	169
メタボリック予防料理	6	67
計	143	1,633

## (4) 生活訓練事業

事業名	開催回数	延べ人数
手話教室	5	25
保健衛生講座	1	38
計	7	63

## (5) スポーツ教室

教室名	開催回数	延べ人数
グラウンドゴルフ	7	91
卓球	37	327
フライングディスク	12	159
サウンドテーブルテニス	10	140
スポーツ・レクリエーション	19	325
レクウォーキング	10	130
身体の動き	7	16
ユニバーサルテニス	3	12
スポーツ体験教室	9	117
軽スポーツ（知的障害者対象）	17	792
大会強化練習	3	20
計	134	2,129

## (6) レクリエーション開催事業

事業名	開催回数	延べ人数
エンジョイクラブ（知的障害者対象）	4	156
各種スポーツ大会	3	113
リフトバスツアー	4	90
身障センターのつどい	1	126
計	12	485

## (7) 指定特定相談支援事業

※サービス等利用計画作成者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数（人）	13	15	16	22	22	27	28	30	32	36	38	39	
新規契約者数（人）	3	2	1	7	0	5	1	2	2	4	2	1	30
契約終了者数（人）	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
サービス等※	2	3	4	7	3	11	3	7	5	8	9	11	73

## 2 尼崎市委託事業

### (1) 障害者相談支援事業

#### ① 障害種別

(実人数)

身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	高次脳機能障害
158	1	12	15	4
発達障害	難病	その他	計	
0	12	7	209	

#### ② 相談方法 (延べ回数)

訪問	来所	同行	電話	メール
257	103	62	1,233	148
個別支援会議	関係機関	その他	合計	
16	300	9	2,128	

#### ③ 相談内容 (延べ回数)

福祉サービス	障害の理解	医療・健康	不安解消	保育・教育
1,532	997	727	465	17
家族・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加
401	146	106	103	61
権利擁護	その他	合計		
17	84	4,656		

### (2) リハビリ学級

内容	開催回数	延べ人数
リハビリ学級	90	1,192

## 3 その他の事業

### (1) 協力・派遣事業

内容	回数	延べ人数
尼崎市介護認定審査会	11	547
手話通訳派遣事業	106	139
尼崎市障害福祉課派遣事業	1	4
兵庫県障害者スポーツ協会関連事業	7	10
その他	13	125
計	138	825



(2) リフトバス運行事業

内容	運行回数	延べ人数
平常運行	583	2,258
事業運行	13	227
貸切運行	16	321
計	612	2,806

(3) 貸室事業

場所	回数	延べ人数
体育室	412	5,592
研修室	113	1,459
日常生活室	32	246
社会適応室・その他	35	247
計	592	7,544

(4) その他

内容	回数	延べ人数
施設見学・実習など	33	67
ボランティア	152	334
その他	14	48
計	199	449

4 月別利用数

(1) 月別事業実施件数 年間 9,090 件※

4	5	6	7	8	8	10	11	12	1	2	3
535	339	734	702	785	823	948	1,024	826	952	872	550

※月別の相談支援実績には特定相談支援及び委託相談支援ののべ件数を含む

(2) 月別利用延べ人数 年間 21,545人

4	5	6	7	8	9	10	11	12
1,911	1,804	1,978	2,008	1,576	1,977	1,991	1,914	1,546
1	2	3						
1,527	1,642	1,671						

【職員研修及び会議等】

概要としては、以下の内容で実施した。

- ・ 職員会議を毎月第2水曜、第4金曜の始業後に設定し、職員全員での今後の事業運営の検討や情報共有を図った。
- ・ リハビリ部門、相談支援部門別の会議及び合同会議を開催し情報共有を図った。
- ・ 新採職員に対する研修の他、施設内研修として定期的に権利擁護や虐待防止について学習した。
- ・ 相談支援従事者初任者研修など、障害福祉サービスの提供に必須とされる研修の受講修了が無事にできた。

#### 職員研修等参加状況

開催日	内容	場所	参加者
28. 4. 8	サウンドテーブルテニス審判員養成研修会	県立障害者スポーツ交流館	体育指導員
4. 23	バリアフリー2016見学	インテックス大阪	理学療法士
4. 23	第7回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会「車いす使用者の部」	ユニバ記念陸上競技場	主任、体育指導員
5. 21	第7回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会卓球大会	県立障害者スポーツ交流館	体育指導員
5. 21	第7回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会「フライングディスクの部」	三木総合防災公園	主任
5. 24	平成28年度障害福祉施設新任職員研修	兵庫県社会福祉研修所	体育指導員
5. 28	第10回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会「陸上競技」	三木総合防災公園	主任、体育指導員
6. 3	第10回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会「サウンドテーブルテニス」	県立障害者スポーツ交流館	体育指導員
6. 12	兵庫県相談支援ネットワーク平成28年度定期総会	西宮市立勤労会館	相談支援専門員
6. 18	日本体育スポーツ経営学会研修会	立命館大学衣笠キャンパス	主任
7. 1	兵庫県相談支援専門員コース別研修	フレンテ西宮	相談支援専門員
7. 2	平成28年度近畿ブロック障がい者スポーツ指導者協議会評議員会	アミティ舞洲	主任
7. 8	平成28年度第1回立花地区地域振興連携推進会議	立花支所	所長
7. 14～15 8. 5 12. 12～13	サービス管理責任者研修	明石市民会館 県立総合リハビリテーションセンター	理学療法士
7. 27、8. 10	相談面接技術研修中級	関西学院大学	相談支援専門員
8. 19	平成28年度安全運転等管理者研修会	尼崎市中小企業センター	所長
8. 26	第5回障害者のじぎく杯サウンドテーブルテニス大会	県立障害者スポーツ交流館	体育指導員

9.24	平成28年度尼崎市障害者・児スポーツ大会	ベイコム体育館	主任、体育指導員、保健師
9.25	全国車イスマラソン大会	篠山市役所	主任
10.1～2	障害者福祉センター管理運営研修	新潟県障害者交流センター	所長
10.12	からだの動きに障害のある方の「秋の体力測定会&からだの相談会」見学	京都市地域リハビリテーション推進センター	理学療法士
10.18	チームアプローチ実地研修	兵庫県社会福祉研修所	相談支援専門員
10.20	阪神地区手をつなぐ育成会保護者会研修会	あましんアルカイックホール・オクト	所長
10.20～25	第16回全国障害者スポーツ大会	岩手県立北上総合運動公園北上陸上競技場	主任
10.25	第1回電動車いすの講習会	京都市地域リハビリテーション推進センター	理学療法士
11.13	はばタンフライングディスク大会	県立障害者スポーツ交流館	主任、体育指導員
11.13	事業団交流研修	尼崎市尼崎学園	理学療法士
11.20	兵庫県園芸療法士会	淡路夢舞台国際会議場	理学療法士
12.26～27	相談面接技術研修	兵庫県社会福祉研修所	指導員
29.1.12	事業団研修「チームワーク」	尼崎市総合教育センター	所長、理学療法士、指導員他
29.1.14	阪神南圏域多職種連携フォーラム	芦屋市保健福祉センター	作業療法士、理学療法士
1.14	パラ・スポーツ応援隊 in 宝塚夢プロジェクト2017	宝塚市立スポーツセンター総合体育館	体育指導員
2.23 3.7	尼養移行支援会議	尼崎市立身体障害者福祉センター	所長、係長、サービス管理責任者
3.7	第2回電動車いすの講習会	京都市地域リハビリテーション推進センター	理学療法士
3.8	アセスメントスキル研修	兵庫県社会福祉研修所	指導員
3.9	平成28年度兵庫県障害者スポーツ連絡協議会	こうべ市民福祉交流センター	体育指導員
3.12	障がい理解講座	大阪市長居障がい者スポーツセンター	体育指導員
3.21	平成28年度阪神南圏域（尼崎市）リハビリテーション連絡協議会	関西ろうさい病院がんセンター	理学療法士
3.22	障害者総合支援法説明会	神戸文化大ホール	サービス管理責任者

年間 27 回	尼崎市自立支援協議会	尼崎市教育・障害福祉センター他	所長、係長、相談支援専門員
年間 6 回	あまがさき相談支援連絡会スキルアップ研修他	中央公民館他	所長、係長、相談支援専門員
年間 25 回	あまがさき相談支援連絡会、ピアウンセリング定例会、相談支援事業所法律相談支援事業他	尼崎市教育・障害福祉センター他	所長、係長、相談支援専門員

## 【その他】

総合防災訓練 （尼崎市教育・障害福祉センター内）

- ・平成 29 年 2 月 24 日（金） 地震・津波想定（避難誘導・介助）
- ・平成 29 年 3 月 22 日（水） 火災想定（通報・消火・避難誘導）

津波の到達を想定した避難訓練では、エレベーターが使用不能になり、車椅子を使用して 4 階まで上ることを想定した実地訓練を行った。

## 尼崎市尼崎学園

### 【総括】

ユニットケアに移行して3年が経過し、この間、新たな施設運営のあり方を継続的に模索し、ユニットケアのメリットを生かすよう努めた。子どもたちの希望に応じた個別的な活動、体験の機会が増え、自分たちで行事の選択ができるため、子どもたちには好評であった。その一方で、小グループでの活動が増えれば増えるほど職員の負担は比例して多くなっている。

また、子どもたちにとっては、担当職員との関係構築がなされるにつれ、個々が抱えている本来の課題が表出されるようになり、昨年に引き続き、チームケアの充実及び職員の援助技術のさらなる向上が求められる状況となっている。

今年度は2回目の第三者評価を受審した。評価項目が前回より若干変更になったため、改善点が増加した。今後は改善項目に優先順位をつけて、計画的に改善を実施し、よりきめ細かい支援の充実を目指していきたい。

### 【事業計画で重点的に取り組んだ項目と達成状況】

取り組み項目	達成状況
ユニットでの生活を工夫し、入所児童の生活習慣の取得に向けた支援及び行事の質の向上を図る。	今まで積極的に取り組めていなかったリービングケアの部分で、将来退所しても困らない程度の生活習慣の習得（洗濯の仕方・干し方、料理をするのに必要な食材の購入等）を積極的に支援した。その結果、職員任せだったことが、概ね自立して行えるようになってきた。 行事においても、子どもたちの意見を取り入れたことで、「やらされている感」が減少し、積極的に参加できるようになった。
入所して良かったと思われる施設運営を目指す。	「子どもたちにとって必要なことは何か」ということを職員だけでなく、子どもたちと一緒に考えていった結果、中学三年生卒業お祝い会のスピーチで「尼崎学園に来て本当に良かった」という感想を聞くことができるなど、信頼関係の醸成ができてきている。
ユニット内での調理を増やす。	ユニット内での調理実習を積極的に取り入れることで、子どもたちが調理を身近に感じる事ができた。今後も将来自活できることを目標に積極的に行っていく。

<p>全体行事を減らし、ユニット行事を増やす。</p>	<p>全体行事はクリスマス会、夏の納涼会(夜店)及びボランティア団体による行事にとどめ、ユニット単位の行事を中心に行った。</p> <p>例えば、旅行もユニット単位で行先及び内容を決めることで、より充実したものになり、子どもたちも満足している。</p> <p>また、個別活動を積極的に取り入れることで、子どもたちの自主性の構築にも繋がっている。</p> <p>このほか、年齢、趣味、性別等を考慮した内容の社会教育活動も積極的に実施し、協調性も培われてきている。</p>
-----------------------------	--

## 【事業内容】

### 1 入所児童の自立支援（個々の自立支援計画及び各年間計画に基づき実施）

#### (1) 生活支援

年間計画及び個々の自立支援計画に基づき、基本的な生活習慣が習得されるように個々の心身の状況や意欲、好みを尊重し、きめ細やかな支援を心がけた。また、日常生活の中で衛生面や病気予防に対する意識が高められるように配慮した。ユニット内で配膳される食事や調理実習を通し、これまで以上に子どもの希望を取り入れながら、栄養面の配慮にとどまらず、喜びや楽しみを得られる食事となるように工夫した。

#### (2) 幼児保育

年間保育計画に基づき、家庭的な雰囲気の中で落ち着いた生活を送り心身の成長が図れるように支援した。特に個々の自己肯定感の向上を目指し、褒めることを重視した。

#### (3) 学習支援

個々に応じた目標を設定し、特に基礎学力の定着に重点をおいて支援を実施した。子どもの特性や希望に配慮し、学習ボランティアや学習塾を積極的に活用した。小学生では、学校教諭と施設職員との連携による支援が学習意欲の向上に繋がった。

#### (4) 性教育

日常生活の中で、子どもたちが自分の身体や命を大切に感じる感覚が持てるように意識した関わりを繰り返した。特にプライベートゾーンや、自己と他者との境界線を知り、守ることを重視した。また、誕生日には担当職員と一対一で外食を行うとともにユニット内でもお祝いし、一人ひとりが大切な存在であることを伝える機会とした。

#### (5) 自立訓練

高等学校卒業後、社会人として自立、自活できるよう、在学中のアルバイトを奨励するとともに、調理、洗濯等を体験できる機会の設定を心がけた。

#### (6) 心理療法事業

臨床心理士を配置し、被虐待等心のケアを必要とする子どもに対し、施設内でプレイセラピー、カウンセリング等、定期的、継続的な個別心理療法を実施した。また、県こども家庭センター、児童精神科等専門機関への通所によるケアも積極的に行った。

(7) 被虐待児等に対する個別対応

被虐待児等個別の対応が必要とされる子どもへの個別面接等を随時実施した（臨床心理士による個別心理療法とは別に）。

(8) 家族調整

個々の自立支援に必要な家族関係再構築を図るため、家庭支援専門相談員を配置、こども家庭センター、福祉事務所等の関係機関と連携し、親子関係調整に努めた。

また、家庭復帰だけではなく、里親委託の促進や措置変更等、より適切な養育環境の提供を目指した。

(9) 社会教育活動及び余暇活動としての行事

子どもの生活体験を豊かにすることや社会におけるマナーの習得を目的として、全体行事、ユニット行事、年齢別趣向別小グループ行事等を実施した。立案にあたっては、できるだけ子どもの意見を取り入れるように心がけた。

2 アフターケア

(1) 卒園生「友の会」の開催。(8月13日) 25名参加。

(2) 退所児童及び保護者に対する相談支援(随時)

3 地域子育て支援

(1) 子育て家庭ショートステイ及び一時保護委託事業

ショートステイ 28人、一時保護委託 23人

(2) 要保護児童地域対策協議会への参画(尼崎市、伊丹市、川西市、三田市)

(3) 「子育てほっとラインさんだ」(閉庁時間帯における子育て相談電話)事業の受託

**【事業実績】**

1 在籍状況

初日在籍児童数 平均 41.5人(平均充足率 92.2%)

(1) 月別在籍児童数

(単位 人)

年月 区分	28												29			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
初日在籍 児童数	38	38	38	39	39	43	44	44	44	44	44	44	44	延べ 499		
入所 児童数	1	0	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	7		
退所 児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		

## (2) 学齢別児童数 (29. 3. 1 現在)

(単位 人)

区分	未 入 園	幼 稚 園	小学生						中学生			高校生			そ の 他	合計
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年		
男	3	1	1	2	0	2	2	5	2	2	1	1	4	3	1	30
女	1	1	0	0	0	2	1	0	3	2	1	1	1	1	0	14
合計	4	2	1	2	0	4	3	5	5	4	2	2	5	4	1	44

## 2 入所児童の状況

(1) 入所児童数 7人

(2) 入所理由 養育困難 5人、措置変更 2人(里親委託から)

## 3 退所児童の状況

(1) 退所児童数 1人

(2) 退所理由 家庭復帰 1人

就職・自立 0人(グループホーム入所)

## 4 「子育てほっとラインさんだ」電話相談業務の状況 (実相談件数のみ) (単位 件)

年月	28 4	5	6	7	8	9	10	11	12	29 1	2	3	合計
件数	11 (38)	24 (16)	18 (15)	16 (23)	23 (97)	28 (23)	20 (28)	17 (12)	12 (20)	11 (24)	26 (17)	44 (21)	250 (334)

\*下段の( )は昨年度の件数

## 【職員研修及び会議等】

## 1 全員職員会議

(1) 実施日(概ね月2回)

4月15日、4月26日、5月11日、5月31日、6月14日、6月28日、7月6日、  
7月19日、9月7日、9月23日、10月14日、10月31日、11月18日、11月30日、  
12月19日、1月11日、1月30日、2月15日、2月27日、3月6日、3月21日

(2) 内容

- ・ 行事予定及び内容の確認
- ・ 子どもの支援経過の確認及び支援方法についての議論
- ・ 職員の援助方法の点検、確認等



(3) 主な効果

- ・ 全職員が顔を合わせて情報共有、議論をするだけでなく、コミュニケーションを図る一助となった。
- ・ 日頃の疑問や不安をお互いが口にすることで自己点検、相互点検の機会となった。

2 外部研修への参加状況

実施日	内容	場所	参加者
28. 5. 25 及 6. 22	チーム・マネジメントリーダー研修	兵庫県社会福祉研修所	主任 2 名
5. 14～16	SBI 児童養護施設職員研修	クロス・ウェーブ梅田	指導員 1 名
6. 7～8	近畿児童養護施設研究協議会京都大会	宮津ロイヤルホテル	園長・指導員 1 名
6. 28～29	全国児童養護施設サークルセミナー	徳島グランドパレス	指導員 1 名
7. 11	県養護交流レクリエーション研修	神戸スカイアドベントチャー	指導員 2 名
7. 20～21	神戸市特定給食施設研修会	兵庫県民会館	栄養士・調理員
9. 13～15	西日本児童養護施設職員セミナー	リーガロイヤルホテル小倉	指導員 1 名
9. 20～21	社会的養護を担う児童福祉施設長研修	ホテル大阪ベイタワー	園長
9. 26	県養連フレッシュマン研修	兵庫県福祉センター	指導員 2 名
10. 19	近畿児童養護施設職員研修	大阪社会福祉指導センター	指導員 1 名
10. 24	県養連キャリアアップ研修①	兵庫県福祉センター	園長・副園長・基幹職員
11. 8～11	児童養護施設職員指導者研修	子どもの虹情報研修センター	指導員 1 名
11. 12～14	SBI 児童養護施設職員研修	クロス・ウェーブ梅田	指導員 1 名
11. 15～17	全国児童養護施設長研究協議会	京王プラザホテル	園長
12. 12	県養連キャリアアップ研修②	兵庫県福祉センター	園長・副園長・基幹職員
29. 1. 14	子育てハッピーアドバイス講演会	三田市総合文化センター	副園長・指導員 4 名
1. 24	調理師技術講座	こうべ市民福祉交流センター	調理員 1 名
2. 9～10	ファミリーソーシャルワーク研修会	TOC 有明	指導員 1 名
2. 28	県養連キャリアアップ研修（心理）	兵庫県福祉センター	臨床心理士 1 名
2. 28～	全国児童養護問題研究会西日本研修	京都教育文化センター	指導員 1 名
3. 1	会		
3. 7	テーマ別研修（性問題）	中央こども家庭センター	副園長・指導員 2 名
3. 9	三光塾研修会	三光塾	指導員 1 名
3. 16	事業団研修（安全運転）	身体障害者デイサービス C	指導員 2 名
3. 23	事業団研修（認知症サポーター養成）	長安寮	園長

## 【その他】

### 1 行事等実施状況

実施日	内容	対象児童
28. 4. 4	社会教育活動(釣り)	児童 4人
4. 17	ユニット活動(映画鑑賞)	児童 2人
4. 24	個別活動(映画鑑賞)	児童 1人
4. 29	道場町民運動会	児童 32人
5. 1	社会教育活動(ローラースケート)	児童 22人
5. 4	ゴールデンウィーク遠足(どうぶつ王国、おもちゃ王国 映画、大阪散策)	児童 33人
5. 5	社会教育活動(スナッグゴルフ)	児童 5人
5. 14	県養連こいのぼりの集い	児童 26人
5. 16	個別活動(映画鑑賞)	児童 2人
5. 22	個別活動(映画鑑賞)	児童 2人
5. 29	個別活動(映画鑑賞)	児童 2人
6. 1	個別活動(映画鑑賞)	児童 1人
6. 4	県養連サッカー大会	児童 12人
6. 6	個別活動(エキスポシティ内ニフレル)	児童 3人
6. 6	社会教育活動(有馬富士公園)	児童 10人
6. 6	個別活動(潮干狩り)	児童 4人
6. 11	ユニット活動(映画鑑賞)	児童 6人
7. 1	個別活動(映画鑑賞)	児童 2人
7. 2	外部団体行事(尼崎あきんど倶楽部職業体験イベント)	児童 37人
7. 9	個別活動(映画鑑賞)	児童 2人
7. 10	個別活動(映画鑑賞)	児童 1人
7. 17	個別活動(映画鑑賞)	児童 2人
7. 23	社会教育活動(小学校 PTA キャンプ)	児童 9人
7. 23	個別活動(映画鑑賞)	児童 1人
7. 25	ユニット活動(映画鑑賞)	児童 4人
7. 27	社会教育活動(釣り)	児童 6人
7. 27	嘱託医による児童健康診断	児童 39人
8. 2	個別活動(だんじり鑑賞)	児童 1人
8. 3~4	空ユニット旅行(大津市他)	児童 6人
8. 4~5	虹ユニット旅行(キャンプリゾート森のひととき)	児童 5人
8. 7	社会教育活動(観劇)	児童 16人
8. 8	ユニット活動(映画鑑賞)	児童 3人
8. 8~9	海ユニット旅行(芝政ワールド)	児童 6人
8. 11	社会教育活動(土器づくり)	児童 2人
8. 13	卒園生 OB 会(尼崎学園友の会)	元職員・卒園児 30人

8. 18	個別活動(映画鑑賞)	児童	2人
8. 22～23	星ユニット旅行(小豆島)	児童	6人
8. 22～23	月ユニット旅行(長浜市他)	児童	5人
8. 23～24	風ユニット旅行(徳島市他)	児童	6人
8. 26	社会教育活動(園外スポーツ活動)	児童	28人
8. 27	社会教育活動(川遊び)	児童	16人
8. 29	納涼会(夜店)	児童	43人
9. 3～4	花ユニット旅行(彦根市他)	児童	6人
9. 19	ユニット活動(フルーツフラワーパーク)	児童	7人
9. 21	社会教育活動(野球観戦)	児童	6人
9. 22	個別活動(映画鑑賞)	児童	2人
10. 3	社会教育活動(有馬富士公園)	児童	13人
10. 3	ユニット活動(釣り)	児童	5人
10. 8	社会教育活動(グラウンドゴルフ大会)	児童	12人
10. 16	県養連バレーボール大会(洲本市体育館)	児童	10人
10. 22	神戸市小学生陸上競技大会(ユニバ記念)	児童	2人
11. 4	ユニット活動(神戸市森林植物園)	児童	7人
11. 6	外部団体行事(焼き芋・豚汁の会イベント)	児童	16人
11. 14	ユニット活動(姫路城他)	児童	4人
11. 20	尼崎学園創立70周年記念式典	参加者	103人
11. 20	個別活動(神戸常盤大学祭)	児童	1人
11. 21	個別活動(映画鑑賞)	児童	1人
11. 23	個別活動(インスタントラーメン発明記念館)	児童	2人
11. 27	社会教育活動(箕面の滝ハイキング)	児童	16人
12. 3	招待行事(職業体験・ユニバーサルスタジオジャパン)	児童	12人
12. 17	個別活動(ひらかたパーク)	児童	3人
12. 22	クリスマス会第一部(お楽しみ会)	参加者	115人
12. 24	クリスマス会第二部(お食事会)	児童	44人
12. 27	ユニット活動(フルーツフラワーパーク)	児童	9人
12. 27	個別活動(ひらかたパーク)	児童	3人
29. 1. 14	個別活動(音楽鑑賞)	児童	1人
1. 22	ユニット活動(映画鑑賞)	児童	4人
1. 23	個別活動(映画鑑賞)	児童	1人
1. 28	個別活動(神戸散策)	児童	1人
1. 28	個別活動(映画鑑賞)	児童	1人
1. 30	個別活動(映画鑑賞)	児童	3人
2. 4	ユニット活動(フルーツフラワーパーク)	児童	7人
2. 5	ユニット活動(合格祈願・北野天満宮)	児童	6人
2. 8	招待行事(キッズニア甲子園)	児童	7人
2. 11	県養連自立支援事業(ラッセホール)	児童	7人

2. 15	ユニット活動(ぼかぼか温泉)	児童	4人
2. 15	個別活動(映画鑑賞)	児童	1人
2. 16	個別活動(映画鑑賞)	児童	1人
2. 18	神戸市小学生卓球大会	児童	7人
2. 21	個別活動(映画鑑賞)	児童	1人
2. 25	ユニット活動(エキスポシティ)	児童	1人
2. 26	ユニット活動(映画鑑賞)	児童	3人
2. 26	ユニット活動(食事マナー)	児童	7人
2. 26	ユニット活動(神戸動物王国)	児童	6人
2. 28	個別活動(スキー)	児童	2人
3. 3	個別活動(卒業祝い外食)	児童	1人
3. 4	社会教育活動(アイススケート・尼崎スポーツの森)	児童	6人
3. 5	個別活動(マラソン大会)	児童	5人
3. 10	個別活動(卒業祝い外食)	児童	1人
3. 10	個別活動(映画鑑賞)	児童	1人
3. 11	招待行事(おもちゃ王国)	児童	26人
3. 16	ユニット活動(退所祝・高校合格祝外食)	児童	6人
3. 18	個別活動(映画鑑賞)	児童	4人
3. 20	中学三年生卒業お祝い会	参加者	95人
3. 23	個別活動(卒業祝外食)	児童	1人
3. 24	ユニット活動(カラオケ)	児童	6人
3. 24	ユニット活動(担当職員退職祝外食)	児童	6人
3. 26	個別活動(映画鑑賞)	児童	3人
3. 27	社会教育活動(有馬ハイキング)	児童	29人
3. 27	ユニット活動(高校合格祝外食)	児童	5人
3. 28	ユニット活動(卒園祝外食)	児童	6人
3. 28	ユニット活動(卒業祝外食)	児童	7人
3. 29	ユニット活動(ボウリング)	児童	7人

## 2 非常災害訓練の実施 (月1回)

- (1) 自衛消防訓練    28年4月30日   5月15日   6月25日   7月24日   8月19日  
                                  10月15日   10月30日   11月26日   12月10日  
                                  29年1月22日   2月26日   3月28日

# 尼崎市立たじかの園

## 【総括】

平成 28 年度、たじかの園は、創立 50 周年の節目を迎えた。式典等を通して、これまでの事業を振り返ることができたと同時に、今後を考える大切な機会となった。

医療型児童発達支援では、他の児童発達支援との連携や、就学や就園などでライフステージが変わる児童のつなぎの支援に力をいれた。

利用者を増やしていくことは継続課題であるが、平成 28 年度は、たくさんの方に利用してもらえる魅力的なたじかの園にするために、検討すべき項目を整理した。次年度に向けて、より具体的な取り組みを展開するための土台を形成することができた。

相談支援では、障害児支援利用計画、サービス等利用計画作成数は増加している。尼崎市委託障害者相談支援事業の相談件数は減少したが、相談者数そのものは維持できた。また、尼崎市成年後見等支援センター運営委員会委員の委嘱の他、新たに尼崎市障害者差別解消支援地域協議会委員の委嘱、指定特定・障害児相談支援担当者会議のリーダー事務局など、委託相談支援事業所として重責も担った。多様化する委託相談支援へのニーズに応えるために、相談支援従事者の確保、さらなる関係機関との連携強化を図っていく必要がある。

## 【事業計画で重点的に取り組んだ項目と達成状況】

取り組み項目	達成状況
障害児支援利用計画作成、サービス等利用計画作成の拡充	障害児支援利用計画の作成は順調に増加しており、サービス等利用計画作成数も前年に比べほぼ倍増した。
障害児のスポーツ参加の機会を拡大	障害児等療育支援事業において、就学前から中学生までの児童を対象に、年齢、身体機能等に応じて、フライングディスク、スポンジテニス、ボッチャ等を月に 1 回程度の頻度で指導員が指導した。また、障害者スポーツ団体の活動を紹介した。 通園事業では、尼崎市スポーツ振興事業団が主催する親子チャレンジ教室に協力・参加し、スポーツに親しむ機会を作った。

<p>新任職員研修の充実、定期的な職員勉強会の実施</p>	<p>新任職員には、講義やOJT研修を充実させた。 職員の勉強会については、外部講師の専門研修や、外部で受講した研修の伝達研修を積極的に行った。これらの研修は、希望する全職員が参加できるようにした。</p>
-------------------------------	---

## 【事業内容】

### 1 医療型児童発達支援

個々の子どもの発達ニーズと保護者のニーズを把握し、個別支援計画やリハビリテーション実施計画に沿った発達支援、治療、家族支援、地域連携を行った。

#### (1) 発達支援

保育、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、発達検査、給食、単独療育、栄養相談（28件）、定期診察、定期健診（耳鼻科、眼科、歯科、エックス線検査 各年1回）、健康管理（身体測定 毎月）

#### (2) 家族支援

保護者勉強会（2回）、ミニ講座（28回）、お母さんのうんどう教室（22回）、家庭訪問（22件）、懇談（クラス懇談、進路懇談等）、グループトーク（5回）

#### (3) 地域連携

卒退園児アフターフォロー（8人）、関係機関療育見学会（参加者32人）、保育所交流（3回）、グループハウス交流、実習生・見学者受け入れ（実人数21人、延べ75日）  
卒退園する園児については、書面、会議等で引継ぎを行う等、移行支援に力をいれた。

たじかの園と他の児童発達支援事業所を並行利用している児童については、個別支援計画のやり取り等を通して、共通した内容の支援が受けられるよう配慮した。

#### (4) 主な行事

※事業実績 行事等実施状況を参照のこと

### 2 保育所等訪問支援

発達に心配のある子どもや集団での行動が苦手な子どもが通う保育所（園）・幼稚園、小学校等に、専門的な知識・技術を持つ保育士、言語聴覚士、臨床心理士等の訪問支援員が月に1回程度訪問して、障害児が集団で生活しやすくなるよう個別支援計画に基づき、本人への支援と同時に担任等や保護者に対し関わりの工夫や配慮を助言した。児童のニーズに応じ、複数の訪問支援員で支援を行った。また、初回、モニタリング時は、児童発達支援管理責任者が訪問支援員と一緒に訪問し、支援の実施状況や方向性を確認した。

### 3 医療保険による診療

0歳から18歳までの乳幼児及び児童・生徒に対し診察を行う他、医師の指示に基づき、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士が個々の子どもの症状に応じた機能訓練、発達検査を行った。

#### 4 障害児等療育支援事業

尼崎市からの委託により、たじかの園のもつ療育機能を、在宅の障害児（者）や発達に不安のある子どもとその家族を中心に幅広く提供し、身近に療育相談や助言指導を行うために、本事業を実施した。

##### (1) 在宅支援訪問療育等指導事業

家庭や所属施設への訪問により、発達相談や療育指導、助言などを行った。

##### (2) 在宅支援外来療育等指導事業

外来による発達相談、個別やグループでの療育指導、助言などを行った。

##### (3) 施設支援一般指導事業

保育所、幼稚園、学校等の職員へ、講義や実技形式での実践指導を行った。

#### 5 相談支援事業

##### (1) 尼崎市委託相談支援事業

障害児（者）やその家族などの相談に応じ情報の提供及び助言、障害福祉サービスの利用支援等を行った。また、虐待の防止及びその早期発見に努めるとともに、障害者等の権利擁護のために必要な援助を他機関と連携して行った。

##### (2) 指定障害児相談支援

児童発達支援（医療型含む）や保育所等訪問支援、放課後等デイサービスなどの利用をともに考え、障害児支援利用計画を作成した。また、必要に応じて関係機関とのモニタリング会議を行い、障害児支援利用計画の見直しを行った。

##### (3) 指定特定相談支援

訪問系サービス、日中活動系サービス、居宅系サービスの利用について、ともに考え、サービス等利用計画を作成した。また、関係機関とのモニタリング会議を行い、サービス等利用計画の見直しを行った。

##### (4) 指定一般相談支援

入院先や入所施設等から地域での生活へ移行時や移行後に、地域で安心して暮らし続けられるよう、基本相談支援を行った。

### 【事業実績】

#### 1 医療型児童発達支援

- (1) 年間延べ契約者数 359 人      (2) 入園児数 14 人      (3) 退園児数 14 人  
(4) 年間延べ利用日数 3,336 日

昨年度に比べ延べ契約者数は 33 人、利用日数は 361 日多かった。

#### 2 保育所等訪問支援

- (1) 契約者数 12 人（3 月末）      (2) 年間実施回数 127 回

昨年度に比べ、延べ利用件数は 51 件減った。

### 3 健康保険による診療

#### (1) 診察実績

平成 28 年度の初診は、115 件であった。

定期診察および装具に関する診察は、それぞれ 465 件、180 件であった。

#### (2) 理学療法・作業療法・言語聴覚療法・摂食機能療法・各種検査実績（件）

昨年度に比べ、園児の件数は 161 件増加した。一方、外来件数は 464 件の減少となった。

園 児	外 来	合 計
3,480	2,286	5,766

### 4 行事等の実施状況

実 施 日	事業名	対象児童
4 月	11 日 始業式	全園児
	25・26 日 こどもの日のまつり	全園児
5 月	12 日 春の遠足(阪神競馬場)	全園児
	16 日 不二家 ペこちゃんショー	全園児
	25 日 就学に関する説明会	4・5 歳児
6 月	1 日 尼崎養護学校見学会	4・5 歳児
	8 日 進路に関して先輩お母さんの話	4・5 歳児
	10 日 眼科・歯科健診	全園児
	17 日 耳鼻科健診	全園児
	26 日 にこにこ日曜参観	全園児
7 月	4 日 プール開き(7/4~9/7)	登園日児童
	6・7 日 七夕まつり	全園児
	21 日 夏のつどい	4・5 歳児
8 月	9 日 1 学期終了日	登園日児童
	24 日 2 学期始業日	登園日児童
9 月	28 日 尼崎養護学校トライやるウィーク受け入れ	登園日児童
10 月	7 日 秋の遠足(ニフレル・万博公園)	全園児
	14 日 親子チャレンジ教室	登園日児童
	20 日 おいもほり	3~5 歳児
	23 日 たじかのっこ交流会・創立 50 周年記念式典	全園児
11 月	9 日 お買い物散歩	4・5 歳児
	16 日~4 回 エックス線検査	全園児
	24 日 関係機関療育見学会	登園日児童
12 月	15・20 日 クリスマス会	全園児
	22 日 2 学期終了日	登園日児童
1 月	10 日 3 学期始業日	登園日児童



2 月	1 日	豆まき	登園日児童
	20 日～ 3 週間	たじかのっこ展（わくわく療育参観週間）	全園児
3 月	3 日	ひなまつり	登園日児童
	16 日	おわかれ会	全園児
	23 日	卒園式	全園児
	24 日	終業式	0～4 歳児
毎 月		お誕生日会	登園日児童
毎 月		身体測定	全園児
随 時		入園式	新入園児
随 時		わくわく療育参観	希望される保護者
随 時		進路に関する相談	希望される保護者
年間 74 回		ケースカンファレンス	全園児
年間 22 件		家庭訪問	対象児童
毎月 2 回		リハビリテーション科嘱託医診察	対象児童
年間 2 回		保護者勉強会（外来講師による）	全保護者
年間 28 回		ミニ講座	登園日保護者
年間 2 回		グループハウス交流・敬老の日のお祝い	3～5 歳児
年間 3 回		立花南愛児園との保育交流	3～5 歳児

## 5 障害児等療育支援事業

外来療育等指導事業は、保育のクラス数を増やしたこともあり、昨年度に比べ 125 件の増加となった。一方、訪問療育等指導事業は 19 件、施設支援一般指導事業は、16 件の減少となった。

在宅支援訪問療育等指導事業	在宅支援外来療育等指導事業	施設支援一般指導事業
70 件	1,683 件	67 件

## 6 相談支援事業

### (1) 尼崎市委託障害者相談支援事業

実利用人数	のべ相談回数(内容別)
414 人	2,756 件

### (2) 指定障害児相談支援

3 月末の契約者数は 88 人、うち新規契約者 29 人、契約終了者 19 人だった。障害児支援利用計画、継続障害児支援利用計画は、218 件作成した。

(3) 指定特定相談支援

3月末の契約者数は18人、サービス等利用計画、継続サービス等利用計画は51件作成した。

※指定障害児相談支援、指定特定相談支援の実績は資料編3-(1)(2)参照のこと

## 【職員研修及び会議等】

### 1 研修

(1) 事業に必要な資格取得等のための研修に参加し、事業所としての体制を整えた。

① サービス管理責任者ブラッシュアップ研修（全2日）

児童発達支援管理責任者 1名

② 虐待対応力向上研修（全1日） 主任 1名

(2) 運営や組織力向上のための研修に参加し、組織の強化を図った。

① 管理職研修（全2日） 園長 1名

② 専門性を向上させる研修 園長 1名

(3) 専門職の研修に参加し、知識・技術力の向上をめざした。また、伝達研修を行い、学んだ知識、技術を職員間で共有した。

① マカトンワークショップ基礎Iコース 言語聴覚士 1名

② 重症心身障害児の呼吸リハ 理学療法士 1名

(4) 職員が講師としての派遣要請を受けて、児童発達支援管理責任者育成に貢献した。

① 児童発達支援管理責任者研修（準備打合せを含め 全9日）係長 1名

### 2 会議

(1) 教育・保健との連携を図った。

① 阪神地域特別支援連携協議会（1回） 園長

② 就学前後にかかる子どもの発達支援連絡会（2回）

園長 児童発達支援管理責任者

(2) 児童発達支援、相談支援等の動向把握に努めた。

① 全国児童発達支援協議会施設長研修会 園長

② 近畿肢体不自由児療育施設連絡協議会役員会（4回） 園長 主任

(職員外部研修)

・通園部門

		内 容	場 所	参 加 者
6 月	11 日	近肢連保育部会研修	布施駅前市民プラザ	指導員
	18 日	近肢連看護部会研修	堺市立健康福祉プラザ	看護師
	19 日	マカトンワークショップ基礎1コース	アネックスパル法円坂	言語聴覚士
	25 日	近肢連理学療法・作業療法部会研修	大阪発達総合療育センター	理学療法士

	30 日	HONDA 歩行アシスト製品確認会	三宮コンベンションセンター	理学療法士
7 月	5 日	新任職員 OJT 担当者研修	兵庫県社会福祉研修所	指導員
	6 日	食品衛生講習会	中小企業センター	栄養士
	24 日	京都大学運動機能セミナー	京都大学	理学療法士
	30 日	療育者講習会 あさしお園公開保育	あさしお園	指導員
8 月	4 日	事業団管理職研修	身体障害者福祉センター研修室	園長
	20 日	重症心身障害児者の呼吸リハ	国民会館	理学療法士
9 月	3 日	近肢連絡食部会研修	草津市立市民交流プラザ	栄養士
	24 日	近肢連心理相談部会研修	堺市立健康福祉プラザ	心理士
	27 日	障害児通所支援事業所研修会	兵庫県民会館	主任 児発管
10 月	1 日	近肢連言語部会研修	大阪発達総合療育センター	言語聴覚士
	4 日	西宮市立こども未来センター見学	西宮市立こども未来センター	保育士 指導員
	15 16 日	作業療法重点課題研修	建設協同組合高松総合センター	作業療法士
	27 日	ストレスマネジメント研修	兵庫県社会福祉研修所	主任
	27 日	集团的個別指導	兵庫県民会館	医師
11 月	12 日	近肢連理学療法・作業療法部会研修	大阪府立港区民センター	作業療法士
	26 日	近肢連看護部会	堺市立健康福祉プラザ	看護師
	29 日	宝塚市立子ども発達支援センター見学	宝塚市立子ども発達支援センター	指導員
	29 日	管理職研修	兵庫県社会福祉研修所	園長
	29 日	近肢連施設長研修会	クリエイション・コア東大阪南館	主任
12 月	3 日	近肢連心理相談部会	サンスクエア堺A棟	心理士
	6 日	管理職研修	兵庫県社会福祉研修所	園長
	10 日	近肢連絡食部会	長岡京市中央生涯学習センター	栄養士
	10 日	関西看護ケア研究会セミナー 重症児者の食べるを支援する	名古屋国際会議場	言語聴覚士
	26 27 日	相談面接技術研修	兵庫県社会福祉研修所	指導員

1 月	7 8 日	脳性まひ早期療育講習会	大阪発達総合療育センター	言語聴覚士
	9 日	発達障害サポーター養成講座 フォローアップ講座	明石市産業交流センター	児発管
	12 日	事業団全体研修	身体障害者福祉センター	全職員
	13 日	全事協近畿ブロック社会福祉事業 団研修	市川町文化センター	園長 指導員
	18 日	サービス管理責任者ブラッシュア ップ研修	西部市民ホール	児発管
	19 日	虐待対応力向上研修	西宮市民会館	主任
	28 日	近肢連保育部会研修	大阪発達総合療育センター	指導員
2 月	3 日	サービス管理責任者ブラッシュア ップ研修	兵庫県総合リハビリテ ーションセンター 福 祉のまちづくり研究所	児発管
	4 日	療育研究大会	立命館朱雀キャンパス	言語聴覚士
	4 5 日	ボバースインフォメーション講習 会	森之宮病院	作業療法士
	6 日	全事協近畿ブロック社会福祉事業 団研修	和歌山県 J Aビル	主任
	15 日	医師会乳児保健委員会研修	市民健康センターハー ティ 2 1	園長 児発管
	18 日	近肢連看護部会研修	堺市立健康福祉プラザ	看護師
	20 日	聖和短期大学研修会	聖和大学	指導員
24 25 日	全国児童発達支援協議会施設長研 修	はまぎんホール ヴィ アマール	園長	
25 日	近肢連理学療法・作業療法部会研 修	大阪発達総合療育セン ター	理学療法士	
3 月	7 日	給食施設研修会	尼崎市立すこやかプラ ザ	栄養士
	18 日	医療安全研修会	市民健康センターハー ティ 2 1	園長

・相談部門

研修日程		内 容	場 所	参加者
6 月	16 日	相談支援全国連絡協議会総会コ ディネーター研修会（～17 日）	ホテルグリーンタワー 幕張	相談員
7 月	26 日	相談面接技術研修(中級 A) (8/9)	関西学院大学	相談員
9 月	28 日	兵庫県サービス管理責任者等研 修ファシリテーター基礎研修	福祉のまちづくり研究 所	係長
12 月	26 日	阪神南圏域 相談支援フォロー アップ研修	芦屋市医師会医療セン ター	相談員

1月	19日	相談支援をつなぐ研修	西宮市勤労市民会館	相談員
	26日	兵庫県相談支援専門コース別研修「障害児相談はじめの一步 知ること・つながること」	明石市産業交流センター	相談員
	30日	障害児・者相談支援事業全国連絡協議会（～31日）	名古屋国際ホテル	相談員
3月	9日	スマホ・ネット・ゲームと子どもたち～学校保健でできること～	ハーティ21	相談員
	17日	相談支援専門員として多職種連携を進める立場にある人のためのリーダー研修	八鹿公民館	係長

(施設内研修)

	内 容	対象職員
全19回	新任職員研修	新任職員
全6回	「保育所等訪問支援」「レクリエーション」「不審者対応訓練」「マカトン」「重症心身障害児者の呼吸リハ」「虐待防止について」	全職員
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師等による研修8回</li> <li>「感覚について現場での応用」「音楽療法」「住宅改修・福祉用具・舗装具」「小児の口腔機能の発達と問題」「ケーススタディ」「ダウン症の摂食指導」「正常発達とは講義編・応用編」</li> <li>各部門からの伝達研修</li> </ul>	対象職員

(会議、連絡会など)

・通園部門

毎月	尼崎市自立支援協議会 あまっこ部会会議	教育・障害福祉センター他	園長
年間 4回	尼崎市教育支援委員会	教育・障害福祉センター他	園長
	近肢連役員会	教育・障害福祉センター他	園長 主任
年間 2回	就学前後にかかる子どもの発達支援連絡会	保健所集団指導室	園長 児発管
	尼養移行支援会議	身体障害者福祉センター	医師
	児童結核対策委員会	尼崎医師会館	医師
年間 1回	近肢連総会	西宮市立こども未来センター	園長 主任
	阪神地域特別支援連携協議会	西宮市立若竹生活文化会館	園長

	阪神南圏域リハビリテーション連絡協議会	関西労災病院	園長
	乳幼児保健委員会	市民健康センターハーティ 21	児発管
	尼養入学選考委員会	尼崎養護学校	園長
	あまっこ部会フォーラム	中央公民館	園長

・相談部門

毎月	あまがさき相談支援連絡会	教育・障害福祉センター他	係長 相談員
	尼崎市自立支援協議会 あまっこ部会会議	教育・障害福祉センター	係長 相談員
	尼崎市自立支援協議会運営会議	教育・障害福祉センター	係長
年間 13回	あまっこファイル 書き方教室、説明会	教育・障害福祉センター	係長
年間 5回	相談支援事業所法律相談支援事業	身体障害者福祉センター	係長 相談員
年間 4回	尼崎市自立支援協議会 ガイドライン検討部会	教育・障害福祉センター他	係長
	特定・障害児相談支援事業者担当者 会 全体会	議会棟 2階議員総会室	係長 相談員
年間 3回	あまがさき相談支援連絡会 スキルアップ研修会	中央公民館 他	係長 相談員
	特定・障害児相談支援事業者担当者 会 (障害児グループ)	身体障害者福祉センター	係長 相談員
	特定・障害児相談支援事業者担当者 会 (知的グループ)	身体障害者福祉センター	係長 相談員
年間 2回	就学前後にかかる子どもの発達支 援連絡会	保健所集団指導室	相談員
	尼崎市自立支援協議会全体会	議会棟 2階議員総会室	係長
	尼崎市成年後見等支援センター運 営委員会	議会棟	相談員
年間 1回	障害者総合支援法等事業者説明会	神戸文化ホール	相談員
	尼崎市障害者差別解消支援地域協 議会	議会棟 2階議員総会室	係長
	乳幼児保健委員会	ハーティ 21	係長
	あまっこ部会フォーラム	中央公民館	係長

## 【その他】

### 1 非常災害訓練の実施

#### (1) 館内自衛消防訓練

平成 29 年 2 月 24 日          平成 29 年 3 月 22 日

#### (2) 自主訓練

- ① 火災                  平成 28 年 4 月 25 日      5 月 27 日      7 月 28 日      11 月 21 日
- ② 風水害              平成 28 年 8 月 30 日
- ③ 地震                  平成 28 年 9 月 26 日      平成 29 年 1 月 20 日
- ④ 不審者対策      平成 28 年 6 月 28 日      10 月 20 日

## 【資料編】

### 1 医療型児童発達支援の状況

#### (1) 月別在籍児童数・延べ利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍児童数(人)	23	23	26	26	26	31	31	35	35	35	34	34	延べ 359
入園児数(人)	4		3			5		4					16
退園児数(人)										1		13	14
延べ利用日数(日)	171	242	300	271	200	314	355	320	269	248	325	321	3,336
延べ出席日数	150	202	264	239	172	262	300	271	218	193	278	286	2,835

#### (2) 園児疾患別状況（平成 29 年 3 月 1 日現在）

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
脳性麻痺			1	2	1				1		1	2	4	6	
超低出生体重児					2				1			2	1	3	
ダウン症候群		1	1	2	1							2	3	5	
精神運動発達遅滞				3		1		1	2			0	7	7	
その他	1		1	1	2	1	1		2	1	1	2	7	5	13
小計	1	1	3	8	6	2	1	1	2	5	1	3	14	20	34
合計	2		11		8		2		7		4		34		

## (3) 平成28年度 卒・退園児進路状況

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	
卒園	尼崎養護学校						2	2	
	特別支援学級						2	2	
退園	あこや学園		3	2		1		6	
	転居	幼稚園							0
		保育園			1				1
		他施設							0
	保育所・幼稚園			1	1			2	
	死亡							0	
	他施設					1		1	
	在宅（長期入院含む）							0	
合 計		0	3	4	1	2	4	14	

## 2 保育所等訪問支援 月別契約者数・利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数 (人)	15	14	16	11	9	16	15	14	14	13	13	12	162
利用日数 (日)	11	10	14	6	3	14	12	12	11	12	11	11	127
支援員訪問延べ回数(回)	13	12	16	7	3	23	14	13	14	14	13	16	158

## 3 相談支援事業

## (1) 指定障害児相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数 (人)	88	87	88	88	89	97	99	100	92	92	92	88	
新規契約者数 (人)	11	0	1	1	2	8	2	2	1	1	0	0	29
契約終了者数 (人)	1	1	0	1	1	0	0	1	9	1	0	4	19
障害児支援計画作成者数 (人)	37	23	24	15	10	35	24	15	13	11	6	5	218



## (2) 指定特定相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数 (人)	12	12	13	12	13	16	15	16	17	18	18	18	
新規契約者 数 (人)	2		1		1	3	0	1	1	1	0	0	10
契約終了者 数 (人)			1			1							2
サービス等利 用計画作成者 数 (人)	6	3	6	3	3	6	1	5	4	4	3	7	51

# 養護老人ホーム長安寮

## 【総括】

養護老人ホームとして、入所者の人権を守り、明るく豊かに生きがいのある生活を送ることができるよう、これまでと同様に、入所者一人ひとりの身体的、精神的特性に応じた生活支援に努めてきた。

運営面においては「長安寮」のあり方検討会での結論に基づき、平成 28 年度中に入所定員を 100 人から 50 人に変更し、1 人部屋での生活を可能にして、入所者 1 人当たりの措置費収入が増加するようにした。また、コージェネレーションの導入を行い、光熱費の削減に取り組み、一定収支改善の効果を上げた。今後も引き続き、経営改善に向けた方策や、可能な限り運営費の削減をすすめていく。

また、入所者の高齢化に伴う ADL の低下からベッド利用を希望する入所者が増えたため、上がり框の昇降が可能な入所者に対しては和室にベッドを置いて対応するようにした。

## 【事業計画で重点的に取り組んだ項目と達成状況】

取り組み項目	達成状況
収支の赤字の解消に向けて、運営全般にわたって具体的方策を実施する。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「長安寮」のあり方検討会での結論に基づき、平成 28 年 12 月 1 日から定員を 50 人に減じたことにより、措置費単価があがり、措置費収入が増額となった。</li><li>・ 光熱費の削減と省エネ対策として平成 28 年 12 月よりコージェネレーションシステムを導入し、支出費用を軽減させている。</li></ul>

## 【事業内容】

### 1 介護及び生活相談

入所者が抱える生活全般に係る問題について、生活相談員等が個別面接を実施し、入所者の意見を尊重しながら具体的な方策を導き出して問題解決を図った。

また入所者の日常生活上の処遇について、支援員、介護職員及び外部ホームヘルパーを中心に食事、入浴、通院、更衣等において適時必要な援助を行った。

介護が必要な利用者に対しては、個々にケアプランを策定し、ホームヘルパーやデイサービスの利用を含め、生活の様々な場面で援助にあたった。

## 2 栄養指導

管理栄養士が、栄養バランスを考えながら入所者個々の嗜好や摂取量を把握して栄養指導を実施した。また、食を楽しめるよう献立に選択食を実施したり、利用者の栄養必要量等を考え、盛り付け量を分けたり、きざみ、油抜き、減塩等の特別食の提供に努めた。

## 3 健康管理

入所者に対して嘱託医師による週1回の診察を実施し、健康管理及び助言を行った。また、日常生活面においては看護師をはじめ全職員が入所者の健康状況を把握するとともに、年2回の定期健康診断を実施した。特にインフルエンザの予防および感染症対策に努めた。

## 4 行事等の実施状況

実施日	内 容	対象者
28. 4. 8	わかば保育園花まつり	全入所者
5. 2	菖蒲湯	全入所者
5. 5	端午の節句行事食	全入所者
5. 17	春の健康診断	全入所者
6. 8	尼崎市保険鍼灸師会慰問	希望者
7. 5	地域交流七夕祭り（東難波乳児保育所との交流）	希望者
7. 7	参議院議員選挙期日前投票	全員
7. 14	飯山劇団慰問	全員
8. 18	地域交流盆踊り大会	全員
8. 25	長安寮としわ会総会	希望者
8. 30	ファーストレディ訪問販売	全入所者
9. 19	敬老の日の式典	希望者
9. 20	尼崎市佛教会慰問	全入所者
10. 12	秋の健康診断	希望者
10. 14	尼崎市鍼灸マッサージ師会慰問	全入所者
10. 27	地域交流演芸大会	全入所者
11. 8	インフルエンザ予防接種	全入所者
11. 16	芋掘り（東難波乳児保育所との交流）	全入所者
11. 22	秋季レクリエーション（尼崎高原ロッジ）・秋の会	全入所者
12. 4	地域交流もちつき大会	全入所者
12. 14	中央地区老人クラブ連合会慰問	全入所者
12. 16	関西電力労組清掃ボランティア	全入所者
12. 21	かしの木保育園との交流会	全入所者
12. 22	地域交流クリスマス会・忘年会	全入所者
29. 1. 1	新年祝賀会	全入所者
2. 1	節分豆まき	

毎月	誕生日会・はつらつ体操	全入所者
毎月	華道クラブ・スカットボール大会	希望者
随時	生活相談員による個別相談	全入所者

## 【事業実績】

### 1 入所者の年齢（平成 29 年 3 月 31 日現在）

年齢 性別	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 99 歳	100～ 104 歳	合 計 (名)
男	2	1	5	5	3	2	0	0	18
女	1	4	3	5	11	3	3	0	30
計	3	5	8	10	14	5	3	0	48

### 2 入所者の介護認定

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計(名)
人数	3	1	14	9	3	0	1	31

### 3 入所者の措置市町

市町	尼崎市	朝来市	枚方市	大阪市	富田林 市	神戸市	西宮市	安芸 太田町	長崎市	芦屋市	計 (名)
人数	36	1	3	1	1	2	1	1	1	1	48

### 4 本年度中の入所者数（平成 28 年度）

市町	尼崎市	芦屋市	計 (名)
人数	1	1	2

### 5 高齢者緊急一時保護事業（平成 28 年度）

保護期間(日)	1 日～ 5 日	6 日～10 日	11 日～15 日	計
利用人数(人)	0	2	2	2
延べ保護期間(日)	0	15	27	42

平成 27 年度 高齢者緊急一時保護状況 : 利用者数 2 名、保護延べ期間 23 日

6 本年度中退所者数

退所原因	帰郷	他施設	医療機関	死亡	その他	計 (名)
人数	0	0	5	0	0	5

【職員研修及び会議等】

1 主な研修・会議の参加状況

開催日	内容	場所	参加者
28. 4. 19	県老協阪神ブロック役員会	セントポーリア愛の郷	寮長
5. 23	県老協阪神ブロック老人福祉施設給食担当職員部会研修会	伸幸苑	栄養士
6. 2	県老協養護部会役員会	兵庫県福祉センター	寮長
6. 10	県老協阪神ブロック役員会	セントポーリア愛の郷	寮長
6. 27	県老協阪神ブロック研修会・施設長会総会	あいな清和苑	寮長
7. 28	県老協養護部会役員会	兵庫県福祉センター	寮長
9. 5	県老協阪神ブロック役員会	セントポーリア愛の郷	寮長
9. 24	県老協阪神ブロック研修会・施設長会	伊丹市立産業情報センター	寮長
10. 17	県老協阪神ブロック役員会	セントポーリア愛の郷	寮長
10. 26	県老協阪神ブロック老人福祉施設給食担当職員部会研修会	ゆめパラティース	栄養士
10. 21	県老協養護部会研修会・役員会	兵庫県福祉センター	寮長
12. 7	社会福祉援助基礎研修 1 日目	県社会福祉研修所	生活支援員
12. 13	社会福祉援助基礎研修 2 日目	県社会福祉研修所	生活支援員
12. 20	県老協阪神ブロック研修会・施設長会	伊丹市立産業情報センター	寮長
29. 1. 13	県老協養護部会役員会	兵庫県福祉センター	寮長
1. 19 ～20	接遇日常マナーリーダー研修	県社会福祉研修所	主任生活支援員
1. 30	県老協養護部会研修会・役員会	兵庫県福祉センター	寮長
2. 20	県老協養護部会施設長研修会	兵庫県福祉センター	寮長
2. 27	県老協運営委員会	兵庫県福祉センター	寮長
3. 7	給食施設研修会	尼崎市立すこやかプラザ	栄養士
3. 11	県老協阪神ブロック研修会・施設長会	西宮商工会議所	寮長
3. 22	県老協第 30 回総会	兵庫県福祉センター	寮長
3. 24	県老協養護部会役員会	兵庫県福祉センター	寮長

3.28	県老協阪神ブロック研修会	協同の苑ケイメイソンときめき	ケアマネジャー 主任生活支援員
------	--------------	----------------	--------------------

## 2 支援員ミーティング（毎月）

入所者への処遇について検討

4月14日、5月18日、6月16日、7月21日、8月23日、9月3日、10月12日、  
11月16日、12月14日、1月11日、2月8日、3月8日

## 3 ケアプラン委員会（毎月）

特定入所者（介護保険サービスを受けている）についてのサービス調整会議

4月26日、5月25日、6月27日、7月22日、8月24日、9月21日、10月19日、  
11月25日、12月20日、1月18日、2月15日、3月27日

## 4 全体職員会議

4月28日、5月18日、6月29日、8月25日、9月8日、10月13日、11月24日、  
12月8日、1月26日、2月23日、3月9日

## 【その他】

### 1 非常災害訓練

#### ・自衛消防訓練

#### ① 日中想定（5月26日）

総合訓練（通報、消火、避難及び防災、ビデオ鑑賞）

#### ② 夜間想定（10月19日）

消火・避難訓練を実施するとともに、尼崎市中消防署員の指導のもと、水消火  
器にて消火訓練を実施した。

### 2 いす式階段昇降機の設置

災害等によるエレベーター停止時に入所者の移動・避難が円滑に行えるように、平成  
29年3月にいす式階段昇降機を設置した。

# 尼崎市立身体障害者デイサービスセンター

## 【総括】

施設で提供する生活介護サービスやその他実施した事業について、利用者家族に対してアンケート調査を行い、意向を把握したうえでサービス改善をはかった。また、アンケート結果は利用者家族に対して報告し、双方向のコミュニケーション強化に努め、家族と職員との連携を深めた。

医療的ケアでは、必要とする利用者に対して体制を強化するため、介護員1名が新たに認定特定行為業務従事者研修を受講し、修了者は合わせて3名となった。平成29年度には登録特定行為事業者として申請していく。

重度身体障害者の利用が多いなか、建物南側の避難用通路が通行に支障があったため、火災や地震等の災害時に、全員が安全かつ速やかに救出できるように避難用通路の整備を行った。

## 【事業計画で重点的に取り組んだ項目と達成状況】

取り組み項目	達成状況
地域との交流事業に取り組む。	<p>地域で活動するグループ等の情報を収集して、利用者が一緒に楽しめる交流事業を企画した。</p> <p>今年度は、近隣の中学校の吹奏楽部による演奏会、地域のボランティアによるアンサンブル演奏や人形劇に加え、新たに手品ショーを招待し、開催した。</p>
福祉サービス第三者評価受審を実施する。	<p>第三者評価を受審し、その評価のなかで、地域との交流や貢献、福祉ニーズに基づいた公益的な活動の推進、さらに施設の活動に対する利用者・家族の参画についての改善を求められた。</p> <p>近隣地域との交流では一定の成果は図られているが、地域貢献や公益的な活動については施設周辺地域の特性を踏まえたうえでどういった取組が可能か検討していく。</p> <p>また、利用者家族が施設の活動に参画することについては、家族の意向を確認しながら、家族が参画できる行事を企画していく。</p>
温水プールの経年劣化による修繕計画を協議する。	<p>プール設備等の経年劣化により、プール槽及びプールサイドの塗装が一部剥がれ、利用者の足裏の損傷や塗装剥離の拡大を防止する目的で、プール槽の底面全面再塗装やプールサイドの補修等を行った。</p>

利用者数の増加に努める。	利用者の9割程度が重度の身体障害者であり、食事介助、入浴介助及び介護室での介護サービスを提供し、サービスの質の確保や利用者の安全確保を第一に、利用者数の維持向上を努めた。
--------------	---

## 【事業内容】

### 1 生活介護事業

社会参加の促進と家族の介護負担の軽減を目的に、利用者の日中活動の場として、利用者との契約に基づきサービス提供を行った。そして、定期的にカンファレンスを実施して個別支援計画を見直し、より良いサービスの提供に努めた。

#### (1) 健康管理・医療的ケアの実施

毎回の利用時に体温・血圧・脈拍の測定により当日の健康状態を確認し、月に1回体重測定を行った。また、必要に応じて家族・関係機関と連携を図る等、利用者の健康管理に努めた。

医療的ケアについては6名の利用者に対して行った。ケアの内容では、経管栄養、吸引及び導尿であった。

#### (2) 食事支援

献立については、毎月メニュー内容や食材のチェックを行った。食事形態については、利用者の咀嚼嚥下能力に応じて「おかゆ」や「きざみ食」「極きざみ食」「ミキサー食」等を提供した。

#### (3) 排泄支援

プライバシーを確保し、排泄誘導の回数や排泄時間のタイミング等について本人の意向を尊重して行った。

#### (4) 入浴支援

入浴を希望される利用者は、入浴困難な利用者も多いため、行事日でも入浴できるようタイムスケジュールを工夫して行った。

#### (5) 社会参加活動

年間行事のなかで、外食・買い物の機会や、近隣の喫茶店を利用する機会を設けた。また、遠足ではエキスポシティに出かける等、社会環境を知る一助とした。

#### (6) レクリエーション活動

季節行事として、花見・夏まつり・クリスマス会・成人の祝い等を実施した。また、外部講師を依頼し「音楽療法」を通して音楽を楽しむ機会、「セラピードッグ」を通して動物と触れ合う機会、「車いすダンス」を通して音楽に合わせて動く感覚を経験する機会を設けた。

地域との交流活動として市内で活動しているグループの方に演奏会や人形劇を依頼して行った。また、地域の公立中学校の吹奏楽部を招待して演奏会を行った。

#### (7) 創作的活動

個人の必要度に応じて、手芸・絵画・折り紙等を行った。

#### (8) スポーツ活動

身体運動能力を考慮した道具や方法で、ボウリング・ボッチャ・風船バレー等のゲ



ームを行った。

(9) プール活動（希望者に対して）

当センターの介護員と、身体障害者福祉センター体育指導員の派遣協力や、外部から助手を依頼することにより行った。

(10) 機能訓練（希望者に対して）

外部の理学療法士が月4回来所し、個別メニューを作成して身体運動能力の維持・改善を目的に機能訓練を行った。

(11) 送迎

4台のリフト付き車輛により、介護職員が添乗し送迎サービスを提供し、吸引を必要とする利用者の送迎には、看護師が添乗した。

2 温水プール事業

事業の実施にあたっては、「尼崎市遊泳用プール指導要綱」に基づき、水質や設備等の維持管理・衛生管理基準を遵守した。

## 【事業実績】

1 生活介護事業

(1) 在籍状況（平成29年3月31日現在）

契約者数36名、週3日通所10名、週2日通所12名、週1日通所14名  
新規契約2名、契約終了3名（他施設利用）

(2) 利用状況

ア 生活介護

年間延利用者数2,689名、1日平均利用者11.1名

（前年度は、年間延利用者数2,743名、1日平均利用者11.2名）

イ 入浴サービス

年間延べ利用者1,690名、1日平均利用者7.0名

（前年度は、年間延べ利用者は1,704名、1日平均利用者7.0名）

ウ 送迎サービス

年間送迎回数 5,209回（片道を1回）

（前年度は、年間送迎回数5,300回）

(3) 月別利用者数状況（契約者数は毎月初日現在の実数）

	開所日数	予定人数	利用件数	入浴件数	平均利用	平均入浴	送迎	給食	ンス	カンファレ	契約者数
4月	21	278	228	136	10.86	6.48	439	215	7		37
5月	18	236	206	129	11.44	7.17	398	193	8		37

6月	22	298	254	161	11.55	7.32	488	238	9	38
7月	21	274	241	150	11.48	7.14	472	229	13	38
8月	21	276	233	146	11.10	6.95	453	221	7	37
9月	20	260	222	149	11.10	7.45	430	209	9	37
10月	20	257	222	147	11.10	7.35	431	207	12	37
11月	20	246	204	110	10.20	5.50	395	165	12	37
12月	18	236	201	130	11.17	7.22	390	191	15	37
1月	19	245	203	130	10.68	6.84	396	195	10	37
2月	20	252	226	146	11.30	7.30	440	221	13	36
3月	22	278	249	156	11.32	7.09	477	245	10	36
合計	242	3,136	2,689	1,690	11.11	6.98	5,209	2,529	125	-

(4) 曜日別利用者数 (単位：人)

	火	水	木	金	土	計
4月	13	16	14	13	13	69
5月	13	16	14	13	13	69
6月	13	17	14	13	13	70
7月	13	17	14	13	13	70
8月	13	16	14	13	13	69
9月	13	16	14	13	13	69
10月	13	16	14	13	13	69
11月	13	16	14	13	13	69
12月	12	16	14	14	13	69
1月	12	16	14	14	13	69
2月	12	15	14	14	13	68
3月	12	15	14	14	13	68

## (5) 利用者の身体状況

主な疾患は「脳性麻痺」で約7割を占める。常時介護が必要な障害支援区分5・6の利用者は33名(91.7%)であった。

## ① 障害支援区分(平成29年3月31日現在)

	6	5	4	3	計
人数	29	4	2	1	36
%	80.6%	11.1%	5.5%	2.8%	100.0%

## ② 手帳所持状況(平成29年3月31日現在)

身体障害者手帳			療育手帳		
等級	人数	%	等級	人数	%
1級	34	94.4%	A	31	86.1%
2級	0	0.0%	B1	1	2.8%
3級	2	5.6%	B2	0	0.0%
			なし	4	11.1%
計	36	100.0%	計	36	100.0%

## (6) 利用者在籍期間(平成29年3月31日現在)

利用期間	～3年未満	～5年未満	～7年未満	～10年未満	10年以上	計
人数	11	2	1	2	20	36

## (7) 行事実施状況

	行事名	実施日数	延べ人数
4月	お花見	5日	32人
5月	お茶会	5日	61人
7月	夏まつり	2日	25人
8月	夏まつり	3日	32人
9月	お茶会	5日	56人
11月	遠足(エキスポ <sup>®</sup> シテイニフル)	4日	29人
12月	クリスマス会	5日	56人
1月	成人の祝い	1日	14人
2月	お茶会(喫茶店)	2日	6人
3月	お茶会(喫茶店)	8日	24人

## (8) 外部講師による活動実施状況

	車いすダンス		音楽療法		セラピードッグ	
	実施日数	延人数	実施日数	延人数	実施日数	延人数
4月						
5月						
6月			3日	38	1日	10
7月			2日	23	1日	9
8月			1日	12	1日	9
9月			3日	32	1日	12
10月			4日	46	1日	9
11月			3日	36	1日	11
12月			-	-	1日	11
1月	1日	13	3日	34	1日	10
2月	2日	23	1日	14	1日	12
3月	2日	19	-	-	1日	12
計	5日	55	20日	235	10日	105

## 2 温水プール事業

(1) 前年度から35名の新規登録があり、平成28年度の登録者数は平成29年3月31日現在で193名。

(2) 年間延利用者数は、身体障害者3,726名、知的障害者220名、介護者752名、計4,698名。再塗装工事の期間は閉鎖したため、昨年度より291名減となった。

(3) 月別利用者数状況

(単位：人)

	開所日数	身体	療育	付添	合計
4月	21	304	20	64	388
5月	13	209	20	50	279
6月	22	367	20	87	474
7月	21	417	28	91	536
8月	16	349	24	79	452
9月	3	67	3	8	78
10月	19	355	26	75	456
11月	20	380	20	57	457
12月	17	295	16	51	362
1月	15	272	14	53	339
2月	19	307	16	64	387
3月	22	404	13	73	490
合計	208	3,726	220	752	4,698

## (4) 登録者数の推移

(単位：人)

	身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		合 計
	男	女	男	女	
4月	52	67	21	19	159
5月	54	72	21	19	166
6月	54	74	21	19	168
7月	58	75	29	19	181
8月	60	76	31	19	186
9月	60	76	31	19	186
10月	63	76	31	19	189
11月	63	77	31	19	190
12月	63	77	31	19	190
1月	63	78	31	19	191
2月	63	79	32	19	193
3月	63	79	32	19	193

## 3 地域との交流活動

11月26日(土)	尼崎市立日新中学校吹奏楽部	教師1名 生徒20名 生徒保護者0名 利用者9名
2月4日(土)	尼崎市立中央中学校吹奏楽部	教師2名 生徒20名 生徒保護者4名 利用者10名

## 4 ボランティア協力による活動

6月7日(火)	マジックショー	ボランティア2名 利用者11名
8月5日(金)	マジックショー	ボランティア2名 利用者12名
9月22日(木)	アンサンブル演奏会	ボランティア5名 利用者11名
3月2日(木)	人形劇	ボランティア5名 利用者11名

## 5 消防訓練

月日	曜日	実施内容	人数
4月29日	金	火災避難(2階入浴室)	17
5月25日	水	火災避難(2階介護室)	16
6月21日	火	火災避難(2階介護室)	17
7月14日	木	火災避難(2階介護室)	17
8月20日	土	火災避難(1階厨房)	13

9月14日	水	火災避難・消火(2階介護室)	18
10月21日	金	地震・津波避難(エコロシティ七松Ⅱ)	18
11月22日	火	消防署との合同訓練 火災避難(1階機械室)	29
12月20日	火	火災避難(2階介護室)	15
1月17日	火	火災避難(1階ボイラー室)	10
2月17日	金	火災避難(2階入浴室)	23
3月25日	木	火災避難(1階ボイラー室)	15

## 6 関係機関との連携

利用者合同支援会議 参加1名(7月22日 みかんの木)

## 7 尼崎養護学校との連携について

- (1) 見学説明会 参加23名(8月23日、9月7日)
- (2) 1日体験実習 受入れ2名(10月22日、11月29日)
- (3) 移行支援会議 参加4名(2月23日)
- (4) 初任者研修受入れ 教諭3名(8月25日～26日)

## 【職員研修及び会議等】

### 1 研修会・会議・講習会等への参加状況

実施日	内 容	場 所	参加者
H28. 4. 19	県老協阪神ブロック役員会	特養セントポーリア愛の郷	所長
4. 22	企業人権同和教育合同研究会 代表幹事会	ベイコム総合体育館	所長
4. 28	救命講習	尼崎市北部防災センター	事務員
5. 10	尼崎人権啓発協会第1回理事会	尼崎市立中央公民館	所長
6. 2	企業人権同和教育合同研究会 代表幹事会	尼崎市総合文化センター	所長
6. 7～25 (8日間)	喀痰吸引等研修	西宮すなご医療福祉センター	介護員
7. 14～15	相談支援従事者初任者研修	明石市民会館	看護師
7. 21	企業人権同和教育合同研究会 人権啓発研修会	出屋敷リベル会議室	所長
7. 28	救命講習	尼崎市北部防災センター	介護員
8. 5	サービス管理責任者等研修	明石市民会館	看護師
10. 7、14	地域福祉実践研修	兵庫県社会福祉研修所	介護員
10. 13、14	サービス管理責任者等研修	福祉のまちづくり研究所	看護師
10. 13	救命講習	尼崎市防災センター	介護員

10.27	救命講習	尼崎市北部防災センター	介護員 2 名
11.16	看護職員研修	兵庫県社会福祉研修所	看護師
H29. 1.12	事業団研修 全体研修	あこや学園	所長、看護師、 介護員
1.27	企業人権同和教育合同研究会 企業内人権教育主管者講座	ベイコム総合体育館	所長
3.16	事業団研修 安全運転研修	身障デイサービスセンター	所長、看護師、 介護員、運転手
3.22	障害者総合支援法等関係事業 者説明会	神戸文化ホール	所長

## 2 施設内勉強会(研修参加者による伝達勉強会)

実施日	内 容	報告者
H28. 12. 28	看護職員研修	看護師
	地域福祉実践研修	介護員
	喀痰吸引等研修	介護員
H29. 2. 9	事業団研修 全体研修	所長

## 【その他】

### 1 非常災害訓練ほか

- (1) 自衛消防訓練（避難・消火・地震避難） 月に 1 回
- (2) 北消防署との合同総合訓練（通報・避難・消火訓練） 11 月 22 日(火)
- (3) 中央地区地域防災訓練「1.17 は忘れない」 1 月 17 日(火) 尼崎市立日新中学校
- (4) 北消防署の立ち入り調査 9 月 9 日(金)

### 2 福祉サービス第三者評価

事前打合わせ：6 月 22 日、事前提出資料：自己評価シート、利用者処遇事例ほか  
利用者(代理人)アンケート：8 月下旬～9 月、評価調査：10 月 25 日(火)～26 日(水)  
評価結果：2 月 20 日

### 3 建物南側避難通路整備工事(工期：3 月 13 日～22 日)

避難用すべり台から降りた後、歩行が困難で介助が必要な利用者が車椅子で安全かつ速やかに避難できるよう、通路にコンクリートを敷き整備した。

## 尼崎市立あこや学園

### 【総括】

総合療育センター機能が求められる流れの中、困難な課題もあるが、たじかの園と連携し、障害児等療育支援事業等、現状で連携できる方策を増やし、児童発達支援センター機能を高めてきた。併せて、個別指導、グループ指導等を通して、個別の配慮や取り組みを大切にしながら、園児と保護者が安心して過ごせるよう支援した。

また、職員の退職や異動等による療育の低下を招かないよう全職員で取り組み、個別支援計画の策定を含め、日々の療育のレベルは維持できた。しかし、2歳児クラスが編成できなかったことで、訪問支援員の確保が難しく、保育所等訪問支援事業の実績数が伸びなかった。

### 【事業計画で重点的に取り組んだ項目と達成状況】

取り組み項目	達成状況
在園児童及び対象児の生活環境を整えるため、関係機関との連絡調整に努める。	<p>毎年行っている「関係機関懇談会」の他、必要に応じて、家庭児童相談員、保健師等及び市内の児童発達支援事業所と相互の個別支援計画を共有する等の連携を図り、在園児童及び保育所等訪問支援事業の対象児の生活環境およびニーズの把握に努めた。</p> <p>卒園後の進路については、各小学校などの進路先と密に連携し、就学・就園後の支援が円滑に行えるよう努めた。</p> <p>また、「就学前後にかかる子どもの発達支援連絡会」を通じて、広く発達の支援を要する子ども達への早期対応を目指す取り組みを行った。</p>
相談体制を整備し、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成を徹底する。	あこや学園の相談員を複数体制にしたり、法人内各施設の相談支援体制を整備刷新したりしたことで、情報共有やサポート体制、新入園児及び在園児その他の障害児支援利用計画の作成に努め、作成数の増加などの成果が見られた。
産休・育休の代替職員を含め、職員連携に努める。	新規採用職員及び産休代替職員が多かったが、都度話し合いの場を持つことで、職員間の連携を図り、臨機応変に療育に取り組めた。



<p>保護者アンケートにより、保護者の登園回数が多い等の指摘があり、検討する。</p>	<p>火曜日保育の実施回数を年間 27 回から 20 回にするなど、実施日を他の行事と連続しないよう調整し、保護者の負担軽減に努めた。</p> <p>実施日及び回数については、今後も保護者の意向を汲みながら検討をしていく。</p>
---	---

## 【事業内容】

### 1 発達支援

#### (1) 保育

一人ひとりの特性や発達段階に配慮しながら、生活や遊びを通して子どもたちの発達を支援した。

##### ① 丈夫な身体をつくる

合同体操、運動遊び、リズム遊び、園庭での遊び、散歩、給食、水遊び、プール遊び及びバス停まで歩くなどの活動を通して、体幹をしっかりさせ、生活リズムの確立をめざした。

##### ② 感情を豊かに表現する

ア 母子関係を確立する。

イ 親や身近な大人（職員）や友だちとの共感関係を育てる。

ウ いろいろな遊びの経験を通して、心の中で考えたり思考する内言語を豊かにする。

エ ボディランゲージに応えたり、豊かな経験を通して自信や意欲を育てる。

##### ③ 基本的生活習慣を身につける

規則正しい生活リズムの確立、食事指導、排泄指導、衣服の着脱指導等を行った。

##### ④ 保育所交流

保育所児との交流を通し、相互に刺激を受け、理解を深める経験を積んだ。保護者にとっても園児の進路を判断するヒントとなった。

#### (2) 発達検査

発達支援を目的として、年 1 回臨床心理士が発達検査を実施した。また、保育場面を参考に運動面・社会面・言語面・認知面など各領域の発達課題を見つけ、個別懇談を通して保護者に伝えた。

#### (3) 言語相談

言語面の発達を支援するため、言語聴覚士が週 2 日、個別言語相談・指導を行い、発声や摂食の機能を高めるよう努めた。また、マカトンサイン等を用いてコミュニケーション意欲を高めるよう努めた。

#### (4) 給食・栄養相談

栄養バランスのよい食事を提供し、皆で一緒に楽しく食事することで基本的な食習慣が身につくよう努めた。献立は、季節感のある食材や園で育てた野菜を使用し、食材の味を活かすよう努め、個々の園児に合わせ、きざみ食やミキサー食を用意した。食物アレルギー児に対しては医師の指示書に従い、代替食、除去食を提供した。

たじかの園の作業療法士等の助言を基に食事姿勢や食器等の改善に努めた。

また、家庭での食事に関して管理栄養士が栄養相談を実施し、肥満や偏食の改善法をともに考えた。

(5) 健康管理

園児が心身ともに健康な毎日を過ごせるよう、年2回の健康診断を実施する他、常に健康状態を把握し、特にてんかん発作等の健康管理に努めた。また、口腔衛生センター歯科医や歯科衛生士による歯磨き指導ボランティアを年4回受けた。

2 家族支援

(1) 精神神経科の嘱託医による相談

新入園児の保護者を対象に医療面でのアドバイスや子育ての療育相談を実施した。

(2) クラス担任による個人懇談およびクラス懇談を各学期に実施し、子どもの発達状況や進路等について話し合った。

(3) フリートーキング

母親一日保育の中で、クラスの枠を越えて育児における悩みや思いを共有し、親同士の関係づくりができるようフリートーキングを実施した。

(4) ペアレント・トレーニング

臨床心理士がコーディネートし、より良い親子関係を築くためのトレーニングを実施した。

3 地域支援

(1) 園児が利用する他の児童発達支援事業所や進路先の小学校、保育園等との情報の引き継ぎ等、連携に努めた。

(2) 関係機関懇談会

保健センター、特別支援学校、児童発達支援事業所等に、あこや学園の療育を知ってもらい、今後の連携のため情報交換を行った。

4 その他

(1) 障害児相談支援

障害のある方やその家族からのさまざまな相談に応じ、児童発達支援、保育所等訪問支援および放課後等デイサービスなどの利用の際に障害児支援利用計画を作成した。

(2) 保育所等訪問支援

保育所等訪問支援計画に基づき、月1回程度、障害児が集団生活を営む施設（保育所、小学校等）を訪問し、集団生活の場で生活しやすくなるよう、かかわりの工夫や配慮点を保護者や担当の先生と一緒に考えた。

(3) きらきらクラブ

子どもの発達に不安のある親子に、遊び場の提供、関わり方の提示、悩み等の受け止めや仲間づくりを目的に1,2学期各10回のプログラムを実施した。

(4) 特別支援教育研修

小学校特別支援学級の主に新任の教師を対象に、当園での療育の理解を深めるための研修をあこや学園で実施した。

## 【事業実績】

### 1 月別在籍児童数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍児童数	49	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	延べ 599
入園児童数	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
卒・退園児童数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	29

### 2 障害の原因及び病名

原因及び病名	性別	男					女					合計
	年齢	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	
知的障害		0	1	1	3	5	0	2	1	3	6	11
自閉症スペクトラム症候群		0	1	5	8	14	0	2	1	2	5	19
広汎性発達障害		0	0	1	2	3	0	0	0	1	1	4
ダウン症候群		0	2	3	0	5	0	0	1	0	1	6
その他の先天性障害		0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	2
その他・未診断		0	4	1	1	6	0	2	0	0	2	8
計		0	8	11	15	34	0	7	3	6	16	50

## 【職員研修及び会議等】

外部職員研修は研修報告書により全職員に回覧しているが、特に職員の関心が高いものについては職員会で研修報告を行っている。

尼崎市自立支援協議会あまっこ部会及びあまがさき相談支援連絡会で作成された「あまっこファイル」の周知に努めた。

※職員研修及び会議等の参加状況の詳細は資料編参照。

## 【その他】

非常災害訓練を次のとおり行った。

- 1 総合消防訓練 28年6月15日、11月14日
- 2 自衛消防訓練 28年4月27日、5月18日、7月15日、8月26日、9月15日、10月24日、12月21日、29年1月18日、2月13日、3月10日

## 【資料編】

### 1 行事等の実施状況

実施日	内 容	対 象 者
28. 4. 5	新入園児説明会	新入園児・保護者
4. 11	入園式	全園児・保護者
5. 2	こどもの日の集い	全園児・保護者
5. 6. 9	療育に関する説明会	保護者
5. 7	アフターケア（約1か月）	全卒園児
5. 16	春の遠足（阪神競馬場緑地公園）	全園児・保護者
5. 20	家庭訪問（約2週間）	全保護者
5. 22	父親一日保育	全園児・保護者
6. 9～7. 1	母親一日保育（グループ懇談会）	全園児・保護者
6. 13	プール開き	全園児
7. 6	七夕の集い	全園児（各クラス）
7. 7	プール遠足（アミティ舞洲）	3クラス児童
7. 14	プール遠足（アミティ舞洲）	3クラス児童
7. 8～15	クラス懇談会	全保護者
7. 23	夕涼み会	全園児・保護者
7. 25	同窓会	卒園後3年の卒園児・ 保護者
8. 9	1学期終了日	全園児
8. 24	2学期始業日	全園児
9. 1～12	母親一日保育（個人懇談会）	全園児・保護者
9. 2	お月見会	全園児・保護者
10. 16	運動会	全園児・保護者
11. 10	秋の遠足（王子動物園）	全園児・保護者
11. 16	関係機関懇談会	関係機関職員
11. 27	父親一日保育	全園児・保護者
12. 1～7	クラス懇談会	全保護者
12. 6	もちつき大会	全園児・保護者
12. 12	クリスマス会	全園児・保護者
12. 22	2学期終了日	全園児
29. 1. 10	3学期始業日	全園児
2. 1	節分	全園児
2. 5	生活発表会	全園児・保護者
3. 2	ひなまつり会	全園児（各クラス）
3. 1～3	クラス懇談会	全保護者
3. 5	父親一日保育	全園児・保護者

3.24	卒園式	全園児・保護者
年間各9回	七松, 塚口北, 保育所との保育所交流	5歳児・保護者
年間18回	保護者勉強会・親の会	全保護者
年間10回	むこっこ保育園とのリズム交流	4・5歳児、保護者
年間2回	立花ひよこ保育園との交流	3歳児

## 2 会議・研修等への参加状況

開催日	内容	場所	参加者
28.4.6	施設内新任職員研修「療育について」	尼崎市立あこや学園	新任職員
4.13	施設内研修「リズム遊びについて」	尼崎市立あこや学園	全職員
4.18	救命救急講習	尼崎市立あこや学園	対象職員
4.26	施設内新任職員研修「マカトン法について」	尼崎市立あこや学園	新任職員
5.11	施設内新任職員研修「火曜日保育について」	尼崎市立あこや学園	新任職員
5.19	施設内研修「進路について」	尼崎市立あこや学園	全職員
5.21、6.18 7.16、8.27	発達障害サポーター養成講座	明石市産業交流センター 明石市立勤労福祉会館	指導員
6.8	ジェスパ講習会	尼崎市立あこや学園	対象職員
6.22	施設支援 園児引き継ぎ及び指導 (OT)	尼崎市立あこや学園	対象職員
7.3	高機能自閉症・アスペルガー症候群セミナー2016	ひと・まち交流館	主任
7.7	「ちょっと気になる子どもの子育て」～子どもの理解と支援のヒント～	神戸市医師会館	指導員
7.21、7.22	てんかん基礎講座	大阪商工会議所	看護師
8.19	安全運転講習	尼崎市中小企業センター	園長
8.25	障がいをもつ子どもの特性に合わせた支援 「遊び、身のまわり動作の支援の実際」	尼崎市立たじかの園	指導員
9.2	兵庫県児童発達支援部会研修会「清水ヶ丘学園の支援」	兵庫県福祉センター	園長
9.13	新任職員ステップアップ研修	兵庫県社会福祉研修所	指導員

9. 15	就学前教育にかかる研修	尼崎市立教育総合センター	指導員
9. 16	職場研修プレセミナー	西宮市民会館	指導員
9. 23、11. 11	新任職員OJT担当者研修（実践編）	兵庫県社会福祉研修所	指導員
9. 23	音楽療法について	尼崎市立たじかの園	指導員・心理士
9. 26	スキルアップ研修会～配慮の必要な子どもの保育を学ぶ～	兵庫県私学会館	主任
9. 27	障害児通所支援事業所研修会	兵庫県民会館	主任
10. 18	チームアプローチ実践研修	兵庫県社会福祉研修所	指導員
10. 28	施設支援 園児対応指導（PT）	尼崎市立あこや学園	指導員
11. 2	「ゆるスポーツ」の体験	身体障害者福祉センター 尼崎市立あこや学園	全職員
11. 5	就学前の子ども支援	姫路市役所	指導員
11. 15	苦情解決について	三田市総合保健福祉センター	主任
11. 16	看護職員研修	兵庫県社会福祉研修所	看護師
11. 19、11. 20	重症心身障害児の遊びの支援の実際	神戸市勤労会館	指導員
12. 13	就学前教育にかかる研修	尼崎市立教育総合センター	指導員
12. 14	リーダーシップとメンバーシップ～施設長の体験談（思い）～	身体障害者福祉センター	対象職員
1. 9	発達障害のある子どもの就学・進学に向けて知っておくべきこと	明石市立産業交流センター	主任
1. 12	チームワークを良くするために	尼崎市立あこや学園	全職員
1. 16	尼崎市社会福祉事業団交流研修	長安寮	指導員
1. 16	栄養士・調理師研修	兵庫県社会福祉研修所	調理師
1. 19、1. 20	接遇・日常マナーリーダー研修	兵庫県社会福祉研修所	指導員
1. 21	ダウン症をはじめとする障害のある子どもの食事摂取と嚥下の課題とその対応	大阪医科大学	指導員
2. 8	子どもの理解と発達支援研修	兵庫県社会福祉研修所	指導員
2. 8	事業団の32年間を振り返って～それぞれの施設で取り組んだこと～	尼崎市立あこや学園	対象職員

2. 15	乳幼児保健講演会	ハーティ 21	園長
2. 25	児童発達支援管理責任者 情報交換会	神戸市心身障害福祉センター	主任
3. 7	給食施設に必要な災害時の食の備え	尼崎市立すこやかプラザ	栄養士・調理師
3. 16	尼崎市立身体障害者福祉センター勉強会「虐待」	身体障害者福祉センター	対象職員
年間 3回	県知協児童発達支援部会	伊丹市立児童発達支援センターあすばる・神戸市心身障害者福祉センター	園長
年間 2回	就学前後にかかる子どもの発達支援連絡会	尼崎市すこやかプラザ	園長
年間 3回	尼崎市社会保障審議会 民生委員審査専門部会	尼崎市役所	園長